新京日日新聞
夕刊　十一月八日
本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓　郵税一ヶ月拾五錢
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ二　新京日日新聞社
電話　編輯局專用(3)三二〇〇　營業局專用(3)三二〇五
發行人　十河榮忠　編輯人　松本勇　印刷人　水越内之介

太原城遂に陥落

空陸相呼應總攻撃
忽ちにして占領
城頭高く日章旗飜る

【北京八日發國通至急報】軍司令部八日午前十時卅五分發表
大場部隊は八日午前九時卅分太原城北正面の一角を占領せり
【北京八日發國通至急報】軍司令部八日午前十時三十分發表＝萱島部隊は八日午前九時十三分太原城々壁東正面の一角を占領せり
【太原城外晉城村八日發國通至急報】八日早朝〇〇基地を出發したわが〇〇機は同七時寒風を衝いて太原城上空に現れ、地上部隊の突撃に呼應して望樓及び各城門兵營に對し猛烈な空爆を敢行した、城内の敵は大混雜に陥つてゐる

城頭高く燦然日章旗あがる

【太原城外八日發國通至急報】萱島部隊は八日午前九時十三分太原城東正面の城壁を占領し、日章旗を掲げた、ついで大場部隊は午前九時卅分北側城壁を占領日章旗を掲げた
【太原八日發國通至急報】太原城東側及び北側城壁の一角を占領した萱島、大場兩部隊は雲霞の如く城内に雪崩れ込み各所に市街戰を展開し殘敵掃蕩中である
【太原城外晉城村八日發國通至急報】太原城を三方より包圍中であつたわが軍は城内の敵に對し再三にわたり開城勸告を行つたが、敵はこれに應ぜざるため遂に斷乎撃滅の意を決した皇軍は、八日午前七時を期して猛烈な空陸呼應の攻城戰を開始した、砲聲殷々として天地を搖がし太原城は早くも黒煙に蔽はれてゐる

北支京漢戰線より　神速騎兵部隊の猛追撃（彰德附近にて）

投降勸告に應ぜず
堪忍袋の緒を切る
斷乎太原城を武力占領

【太原城外晉城村八日發國通至急報】不落を誇る山西の首都太原を北から、東から、西から全く包圍したわが軍はこれを一擧に占領するは易けれど多數の市民を有する城内を戰火の巷となし第三國人に對し累を及ぼすに忍びずと〇〇部隊長はなほも城内に頑張つて最後の抵抗を試みつゝある敵に對し七日朝來再三にわたつて或は軍使を派し或は空中よりビラを撒布し投降を勸告したが、頑迷なる共産軍の容るゝ所とならず遂に堪忍袋の緒を切つた〇〇部隊長は斷乎武力占領の決意を固めた、しかしながら城内無辜の市民及び第三國人に損傷を與えぬ様との深い思慮から〇〇部隊長は僅か二キロの南方包圍陣を緩め城内非戰闘員に對し空中宣傳をもつて八日午前七時までに退去を要求したのであつた、斯くて不氣味な城内外の對立は暴風を孕みつゝ一夜を明かした、明くれば十一月の八日紅葉に霜白く結ぶ初冬の陣營寒く時は來た、午前七時三望樓上を睨みつゝ待ちに待つた皇軍の砲門は一齊に火を吐いた、騎兵の突撃、歩兵の猛進、殷々たる砲聲は山西の天地を搖がし壯烈なる攻城戰はこゝに展開された、この地上軍と呼應してわが空の挺身隊〇〇機も身を刺すやうな寒風を衝いて太原の上空を襲ひ痛烈な爆撃を開始し、見る見る望樓が飛ぶ、城門が崩れる、忽ちにして由緒を誇つた太原城は濛々たる黒煙に包まれてしまつた

金山縣城に日章旗飜る

【上海八日發國通】八日早朝の空中偵察によれば、黄浦江上流金山縣城に日章旗が飜翻と飜つて居るのを確認した

北進中の敵四ヶ師潰滅

【石家莊七日發國通】正太線方面より疾風の如く進撃、太原の南方に迂回して敵の退路を遮斷したわが〇〇部隊は、五日早朝楡次方面より太原に向つて北進中の敵十一、廿七、百廿三、百廿七の四個師の大軍と遭遇、鳴謙鎭南方において激烈な戰闘を交へた、すなはち小林部隊は北小南庄、趙登部隊は鳴李村及び寺庄の南側にあつて必死と太原遁入を企てる右敵部隊に徹底的爆撃を加へた、この猛襲に遭つた敵は死體二千を遺棄して殆ど潰滅した、わが將兵は娘子關奮闘における惡戰苦闘の復讐成れりとばかり意氣衝天の概を示してゐる

日本の爆撃は正確
佛通報艦長談

【敦賀國通】フランス極東艦隊所屬通報艦アシラルシャルネ號艦長メルシエ大佐は、六日敦賀出帆の歐亞連絡船でウラジオ經由歸國したが、同大佐は上海方面の戰闘について左の如く語つた
日本軍の爆撃砲彈は極めて正確で停車場、支那官公衙その他支那軍の屯してゐる地點以外は全く何等の損傷をも受けてをらず、これがため各國大公使館をはじめ在留外人等は平素と何等の變りなく安心して事務をとつてゐる、北支或は上海方面に關係を有つ諸國には種々誤り傳へられてゐる向もあるらしいのでこの點については自分が歸國の上は充分眞相を認識させることにつとめる積りである

日本再招請口上書
廣田外相に手交

【東京國通】九國條約會議の日本代表再招請に關する對日回答口上書は、七日午後五時駐日ベルギー大使バツソンピエール氏が外相官邸に廣田外相を訪問正式にこれを手交した、仍つて外務當局では直ちに正確なる譯文を作成すると共にその内容に對して嚴密なる檢討を加へ外務當局の態度を決定して廣田外相からこれを閣議に諮り帝國政府としての態度を正式に決定、再び回答する筈であるが、今回の九國條約會議に對する我國の見解及びこれに臨む方針はすでに決定せる通り確固不動のものであり、今回の再招請によつて何ら變更することなく重ねて參加拒絶の回答を發するものと察せられる

黄浦江を越え松江に向け前進
蘇州河南岸も南方へ壓迫

【上海八日發國通】上海軍司令部七日午後九時發表
一、六日午前黄浦江岸に達せる〇〇部隊は同日午後六時黄浦江を越えて北岸に進出松江に向ひ攻撃前進中
一、蘇州河南岸における脇坂下枝、富士井各部隊は七日朝來ピアス路を越えてその南方小部落の堅固な敵陣を猛攻中、田上、石井部隊はまた當面の敵を南方に壓迫中にして戰況有利に展開しつゝあり

浦東を放棄退却

【上海七日發國通】事變以來浦東に蟠居せる敵大部隊は、わが陸軍新鋭部隊の杭州灣上陸により多大の脅威を受け動搖の色顯著なるものあつたが敵は袋の鼠となることを恐れて咫尺を辨ぜぬ濃霧と夜陰に乘じ六日夜來浦東を放棄し上海西北方に向け續々退却を開始した

徹底的打撃を蒙つた
南京、杭州方面
廬山より上海着某外人談

【上海七日發國通】南京および杭州方面の的確な情勢は久しく不明であつたが、廬山より南京經由六日來滬せる某外國人（中央政治學校敎官）および上海發松江、嘉興、杭州寧波經由五日歸滬せるものゝ滬杭甬沿線視察によつて明白となつた

一、南京の現狀
上海事變發生以來數十回にわたるわが空軍の猛襲で南京城内外及び句容の飛行場は勿論、中央軍官學校軍事委員會、軍政部、參謀本部、財政部等の主なる黨政、軍三機關の建物は完膚なきまでに破壞されてゐる、更に中央無電臺、放送局、電力廠、自動車工場等の蒙つた損害は甚大で各城門の中では南門の被害は最も大きい、事變前百十餘萬に上つた南京の人口は三、四十萬を餘すに過ぎず軍事機關の中では外形のみを殘してその一部又は主要部を南昌方面に臨時移轉させたものも多く、蔣介石直屬の中央政治學校の如きも教育長の引率の下に廬山で開校され南京には看板だけ留めてゐる
市内の商店の多くは戸を開けてゐるが、商賣は全くあがつたりでさびれきり、今や南京は廢城と化し去つた感がある、殘留市民はわが方の空襲に對する恐怖のあまり全市到る處に地下室を設けてゐる、即ち各家庭では自費で設備してゐるが公共の避難所も相當の數に上り、挹江門（中山路によつて市内より下關に出る城門）内側の丘陵を利用して造つた地下室も目下完備してをり、あらゆる軍事機關は此處に置かれ、南北全支の陣地に號令してゐるといはれる

二、滬杭甬沿線の狀況
我軍の京滬線遮斷によつて大上海と江浙間の交通幹線としては滬杭甬鐵道を殘すのみとなつたので支那は本線の保持に死物狂となつてゐるが、去る十月廿七日上海發松江、嘉興、杭州を經由寧波に出で五日歸來せるものゝ手記によれば、滬杭甬線の第卅、卅一の二大鐵橋はわが方の空爆によつて大破し上海と杭州間で空襲をうけること前後三回、その間支那里で四、五里を徒歩して列車を乘換へなければならなかつた、沿線の要地辛莊、松江、嘉善、嘉興の停車場はわが方の數十回の爆撃で何れも大損害を蒙つてゐるが、就中松江が最も甚しく同地の停車場及び附近一帶の建物は全然烏有に歸してゐる、前線より續々松江に後送される夥しい負傷兵は到る所に溢れつゝ救助列車の到着を待つ慘狀で、また杭州の停車場も徹底的完膚なきまでにやつつけられ、沿線になだれをうつて押し寄せた避難民中には野宿してゐるものが多い

三、杭寧の兩線も本線と同一狀態を呈し軍事輸送に殆ど役立たない
江蘇省の内河航行もわが方の被害を蒙り殘された唯一の運轉機關たるバス、貨物自動車も殆ど軍用に徵發されてゐるので、水陸兩方面とも交通運輸は極度の澁滯を來してゐる
なほ軍用の飛行場や空軍學校は外形だけは殘してゐるが、空爆で内部は全部燒失し全然使用に耐えず、甦村の敎官住宅區も完全に壞され建物の損害は五百萬元以上と推定され、航空學校はわが屢次の猛撃に居たゝまらず九月上旬から移轉を開始し、雲南の崑明及び江南方面へ移轉を完了してゐる
杭州城周圍の防空陣の一半はわが空軍のため破壞され殘る半分は市内に對するわが方の空爆を誘發する虞れありとして全部撤去、他處に移轉せしめられ今や何等の防空施設を殘さず、杭州一帶の後方部隊は二萬を算するもこれまたわが方の空爆を恐れて市内部に隻影をもとゞめず全部附近の村落に分駐させてゐる、同市の物價は平均二、三割方騰貴し失業者廿萬人を突破して各旅館は門前雀羅の感がある、これは旅館に對する警察の臨檢が極度に嚴重で、晝夜を分たず一日數十回にわたつて行はれ、もし犯罪者を同宿せばその罪狀如何では旅館主も連座するためである、さらに普通の人でも在泊すれば遲滯なくもより軍警機關に屆出でなければならぬ、もし拘留されれば奸漢たることが發覺すれば主人も同志と見做され、通行人たると旅客たるとを論ぜず形跡の怪しきものは片端から押送され、奸漢の名で銃殺され、その多きは數千名にのぼるが、さらに當局の奸漢狩りに密告の門を開く不逞の輩や不禮の徒弟は良民を奸漢として强迫して金をしぼるもの頻出して民怨沸騰し、當局の單なる民衆彈壓手段となつた奸漢狩りは各方面で怨嗟の的となつてゐる
なほ浙江全省七十二縣は軍事當局の嚴重な督促により各郷、鎭に於て壯丁に軍事訓練を施し、その數五十萬に上ると傳へられ、この訓練は當局派遣の正規軍官によつて行はれ、壯丁に對する手當は月額八元、費用は全く各郷、鎭の自辨で一旦召集令來れば直ちに正規軍に改編され、乃至は前線部隊として募集せしめることになつてゐる、しかして壯丁訓練は郷、鎭經濟枯渇の折から地方に對する負擔の加重となり、且つ壯丁に對する手當も行き渡らないので怨嗟の聲高く、當局自身においても武器彈藥の補給難から四苦八苦の態である

人事往來

新京
▲中野俊助氏（官吏）七日來京ヤマトホテル
▲井上剛太郎氏（會社員）同
▲加藤尚三氏（同）同
▲日高長次郎氏（同）同
▲千葉秋雄氏（辯護士）同
▲別所大氏（官吏）同
▲青木昭男氏（同）同
▲萩原壽雄氏（同）同
▲山田紀之助氏（同）同
▲田中定三郎氏（同）同國際ホテル
▲池田良吉氏（同）同
▲中津梅義明氏（同）同
▲神子勇氏（同）同
▲原田英雄氏（同）同滿蒙ホテル
▲宮本增藏氏（同）同
▲谷内嘉作氏（商業）同
▲小澤豐吉氏（官吏）同
▲笠井幸惠氏（同）同都ホテル
▲祖式引夫氏（同）同
▲川本今朝美氏（滿鮮拓殖）同新京ホテル
▲松下寛氏（商業）同蓬萊ホテル
▲三原次郎氏（滿鐵社員）同
▲佐瀨武雄氏（同）同富士屋旅館
▲岡新六氏（同）同
▲野村勘三郎氏（商業）同
▲和田熊雄氏（官吏）同
▲片山理助氏（會社員）同
▲石黒榮氏（鐵道總局員）同

出發
▲原田耕三氏　七日大連へ
▲川村博氏　圖們へ
▲吉田丹一郎氏　哈市へ
▲原口九百氏　奉天へ
▲關眞氏　同
▲伊藤文市氏　哈市へ
▲杉山勳氏　大連へ
▲三浦龜三郎氏　滿洲里へ
▲石井政吉氏　奉天へ
▲正木甚四郎氏　同
▲眞壁磯五郎氏　同
▲篠田廣海氏　大連へ
▲長尾行介氏　四平街へ
▲田口敏夫氏　奉天へ

その日く

□見下せば南京城下風蕭し、抗日支那の黄昏は愈よ迫り來つた
□太原、上海の包圍から總攻撃へ、その次には南京の運命たらざるを得まい
□果然擴大防共協定は、ブリユツセル會議を昏迷に導き去つた
□新情勢下、支那から手を引くことをしみじみ考へざるを得ぬ國もあらう
□捷報待ちつゝ市民大祝賀の用意は全く、感激は清冽の大氣を超絶しよう

太原城陥落の報に 國都は忽ち沸騰

合圖の花火に歡喜の坩堝と化す 市民旗行列は明日

太原陥落の新京市民祝賀旗行列は九日午後一時から擧行するに決定した、此の日全市民は各戸洩れなく國旗提灯を掲げて祝賀の意を表し三發の煙火を合圖に各戸一人以上新京忠靈塔に集まり五十屬在鄉軍人聯合分會長の發聲で大日本帝國萬歲を三唱しそれより旗行列に移り關東軍司令部前、新京驛前、新京神社前でそれぞれ萬歲を三唱して解散の豫定であるが當日は全市各商店は正午から休業し行列に參加するやう希望されてゐる

待望の山西の都太原は八日午前九時十五分遂に陷落した勝報一度び傳はるや新京市內は急ち歡喜の嵐と化し鄉軍聯合分會では直ちに五發の煙火を打揚げ市民に報知し戸毎に日章旗と祝賀提灯が掲げられ附屬地各學校では祝賀旗行列を行ふなど全市祝賀氣分に溶け込んだ

一萬二千の學童 萬歲の波を練る

軍歌調も高らかに

太原の陷落を祝ひ國威を中外に發揚せんが爲に全新京初等中等學校兒童生徒の意氣を示す大戰捷旗行列は八日午後一時から開始された、手に手に小旗を携へた一萬二千の學童は續々として忠靈塔に集合指揮者の號令一下嚴肅に式は開始され君ケ代を奉唱し一同忠靈塔を拜禮、商業學校ブラスバンド中學校、室町、八島、白菊三學校のラツパ鼓隊の吹奏につれて『天に代りて不義を打つ』の軍歌も高らかに『皇軍萬歲』『祝戰捷』の二大旗を先頭に商業學校先づ出發、西廣場、青年、室町敷島高女、錦ケ丘高女、普通白菊、三笠、公學校、八島、櫻木、順天、中學校の順序にてこれに續いて出發蜿蜒長蛇の旗の波は西公園西側より西廣場駐滿海軍部に到り萬歲三唱滿鐵支社前より日本橋通に出で朝日通に折れ本社前を總領事館前にて萬歲唱和祝意を表し新發路より關東軍司令部に到り萬歲を三唱すれば道ゆく人々もこれに和しその聲天に轟くばかり更に大同大街を南進して大同廣場に到着一同の整列を待つて諫山白菊校長より一場の訓辭を述べ解散したが巷に流れる少年の意氣は全市民を感激と昂奮のるつぼに卷き込んだ

朗光の北支より

國防婦女會特派四女史歸る

滿洲國國防婦女會より特派せられて新生北支の婦女界に呼びかけた、首都支部馬王佐臣、吉林支部王秀英、奉天支部王毅君、哈爾濱支部王梅先四女史は十月十五日出發以來三週間幾多の貴重な成績を殘して同會首都支部が一周年を迎へる記念すべき日八日午後三時多數の會員に迎へられて新京へ歸着した、同會では直に國防婦人會と協同して歡迎會及び報告會を盛大に行ふ計畫をたて關係者は寄々協議中である

香典かへしをやめて 陸海軍へ獻金

岡野外務局事務官から

外務局事務官岡野誠治氏は去月末日トモ子さんを亡ひ、送葬に際し各方面から寄せられた弔慰に對し返禮を行ふ筈であるが時節柄遠慮し故人追善のため寄附寄進を行ひ、尚七日本社へ金百圓を寄託、國防獻金にしたしと申出があり、本社ではこれを折半關東軍司令部と駐滿海軍部へ獻金の手續をとつた

和田央子さん寄託

市內八島小學校三年生和田央子さんは丹精をこめた千人針と慰問袋を七日の日曜日午後に本社に持參どうぞこれを兵隊さんに上げて下さいと寄託本社では八日獻納の手續をとることゝした

新京舞踏場組合 ダンス獻金

さきに大和分會を結成して國防婦人會に加入した新京舞踏組合では新京市內の扇芳會館、モンテカルロ、新京會館、キヤピタルの四ホールにおいて七日午後二時より五時まで國防獻金ダンス會を開催し、一圓の會員券を發賣して當日の總賣上げを全部國防費として八日獻納する筈であるが、金額は四ホール合せて約五百圓に達する見込みである

防共協定を祝福

在京白系露人反共演說大會開催

新たに締結された日、獨、伊防共協定の趣旨に滿腔の贊意を表し在京白系露人約二百名は、ボルシエヴイキ革命記念日たる昨七日午後九時より白系露人事務局に集合し、反共演說大會を開催、コザツク人代表エホス氏、フアシスト代表レシチコフ氏、アルメニア人代表ロストミヤンツ氏、タタール人代表ギバドウーリン氏等交々立つて猛烈な反共演說を行ひ、日獨伊防共協定を祝福し午後十一時半盛會裡に散會した

不良ボーイの飲食店荒し

七日午前九時頃永樂町三丁目路上を徘徊する擧動不審の半島人少年を新京署成松刑事が發見本署に連行嚴重取調べの結果、右は本籍朝鮮平安南道順川郡內南面、住所不定崔錫萬（一八）で昨春來京以來市內カフエーのボーイとして働いてゐたが素行修らず七軒を轉々とし先月初旬富士町白馬から馘首されて以來ルンペンとなつたが去る一日西七馬路飲食店バツテンに於てラヂオ一台時價四十二圓を、二日ダイヤ街スタンドミユキより蓄音機一台レコード五十七枚時價八十圓を竊取入質して市內朝鮮料理店で遊興費消せるものであつた、尚餘罪ある見込みで取調べ續行中である

日滿ケーブル連絡 本年內には完成

明年は電送寫眞も實現す

日滿間電信電話連絡に一エポツクを劃する奉天─福岡間三千キロケーブル連絡は、さきに安東─奉天間の工事完成を見、本年內に最後工事たる京城─安東間も開通する豫定であるが、滿洲電々會社ではさらに奉天─新京間の無裝荷ケーブル工事に着手すべく豫算約五百萬圓を計上、明春解氷期頃より着工される豫定で、完成の曉は日滿を繋ぐ通信連絡は完璧の域に到達すべく同時に多年の懸案たる日滿間電送寫眞も實現する筈で各方面から多大の期待をかけられてゐる

家庭巡廻班員

首都警察廳衛生科ではかねて募集中であつた滿人家庭の衛生思想普及の目的をもつて組織された女のみの家庭巡廻班員を採用試驗の結果滿人五名を決定し八日より出勤して必要な教育を授けてゐる、日本人側は八日午後一時半より採用試驗を行ひ三十餘名の希望者の中より取敢えず二名だけ嚴選することになつてゐる

家庭防護團 廿二日發會式

各關係者間に於て設立計畫中の家庭防護團は本月中旬結成されることゝなつてゐたが、諸般の準備未だ整はず延期され、來る二十二日大々的に發會式を擧行することゝなつた「防空は先づ家庭から」のモツトーのもとに

上田上等兵の告別式

救護班として北支に出勤不幸發疹チフスの爲十月五日仆れた上田剛衛生上等兵の告別式は十二日午後三時三十分より新京陸軍病院に於て行はれる

羽生博士 奉天に榮轉

滿鐵新京保健所主任醫學博士羽生秀吉氏は二日附奉天保健所主任に轉勤した、同氏は新京保健所設置と共に昭和十年六月着任以來主任として國都防疫並に市民保健に盡した功績は偉大なるものあり今回の轉勤は各方面から痛惜されてゐる、なほ後任には滿鐵本社衛生課防疫主任醫學博士村川五郎氏が任命され不日着任するが同氏は九州帝大の出身で昭和四年頃新京細菌檢查所に勤務したこともあり藥學士醫學士醫學博士等の學位の持主である【寫眞は惜まれて去る羽生博士】

同文書院 灰燼に歸す

【上海八日發國通】同文書院は七日午後七時十分三度怪火に見舞はれ、共同租界、佛租界消防隊は徹宵防火に當つたが火勢猛烈で深更に至るも火勢劣へず、今朝に至り漸く鎭火した、支那兵の執拗なる放火であることに一點の疑ひなく今次の火災をもつて傳統を誇つた校舍も貴重なる文獻も灰燼に歸した

滿鐵北支事務局

滿鐵北支事務局は六日天津佛租界より天津特別二區華安街六號（元天津市立師範學校跡）に移轉した

三井參事北支へ

電々參事三井實雄氏は北支視察のため八日午前十時發〝はと〟で天津に向つた

映協社屋地鎭祭

株式會社滿洲映畫協會では來る十日午前十一時特別市洪熙街六〇二番地に社屋建築の地鎭祭を擧行する

又復貨物自動車の 不敵な轢逃げ事件

馬車の婦人を突落し遁走

最近頻發する交通禍には運轉手の素質低下によるものと非難の聲あるが折柄またしても妙齡の婦人を轢き人事不省に陷らしめそのまゝ姿を晦した不都合極まる交通事故があつた─七日午後五時三十分頃東五條通五番地工藤組內松下ウラさん（二二）は客馬車で吉林大路を附屬地に向け進行中同路上二道河子橋際交叉點に差しかゝるや同一方向に疾走し來つた貨物自動車が追ひ拔かんとして該馬車の左側を引つかけ顚覆せしめウラさんは車より路面にたゝきつけられ人事不省に陷つたが、自動車はその慘禍をふりむきもせず急スピードを以て一散に附屬地方面に逃走した、折よく通行中の特別市興安胡同二一四菊池正成氏が目擊人事不省のウラさんを介抱して歸宅せしめたが、ウラさんは右大腿部・左上膊部に打撲傷、左母指裂傷で全治十日間の負傷を受けた、尚右事件は同日午後九時半領警署に屆出あり目下犯人嚴探中である

警務科長會議

治外法權撤廢に伴ふ警察權接收に關し諸種の重要問題協議のため治安部では八日午前九時半より全滿各省警務科長、治安部各股長以上、その他關係者列席のもとに治安部內第一會議室に於て警務科長會議を開催、先づ于治安部大臣より治廢後の滿洲國側警察の大綱方針について訓示あり、直ちに細部に亘る協議を進め正午一旦休憩午後に移つた、九日も同樣會議を續行する筈であるが、治廢實施を目睫に控へた警務科長會議であるためその結果は各方面に注目せられてゐる

國際オリムピック 在滿日本人選手の國籍

滿洲國の正式加盟實現まで 日本選手として出場

行政權移讓後における在滿體育機關の統一については滿洲體育協會を解體してこれを滿洲帝國體育聯盟に合流せしめスポーツによる五族協和の理想を實現すべく既に滿洲體協ならびに滿洲帝國體聯との間に完全なる意見の一致をみてゐるが、國際競技における在滿日本人選手の國籍問題については滿洲國が未だ國際オリムピツクに加盟してゐない今日暫行的辨法として東洋大會には滿洲國選手として參加するが國際オリムピツクには滿洲國の正式加盟が實現するまで日本選手として出場することに意見が纒り目下右問題につき滿洲帝國體聯及日本體協との間に折衝が續けられてゐる、しかして國籍問題については種々複雜した問題が介在してゐる關係上交渉行惱みの狀態にあるが日本スケート選手權保持者の約半數を有する滿洲氷上聯盟では右問題の成行を重大視し右交渉の速かなる實現を期する見地から今回大日本氷上聯盟を通じ日本體協にあて、前記國籍問題の早急實現を督促することに決定した

田中滿洲帝國體聯主事語る

右につき滿洲帝國體育聯盟の田中主事は語る

選手の國籍問題については其の後も日本體協と種々折衝を重ね近々協定書のやうなものを取り交すことになつて居り少しも案ずることはないと思ふ、要するに滿洲國がオリンピツクに正式加盟する迄は從前の例に依ることになるだらうが、その場合は日本選手として出場出來るので何等心配する必要はないのだから選手諸君は意を安んじて來るべき檜舞台の榮冠めざして練磨され度い、氷上聯盟が日本體協に直接督促云々といふことは未だ何にも聞いて居ないが、氷上聯盟かこちらに何等の話もなく直接交渉とか督促とかといふのは一寸おかしいですね……

滿洲氷上聯盟 スケヂユール

【奉天國通】スケート・シーズンを目前に控へ滿洲氷上聯盟では七日午後一時より萩町社員俱樂部において委員會を開催、協議の結果本年度におけるスケジユールを左の如く決定、同時に全滿洲氷聯會長久保田博士の辭任に伴ふ後任會長に滿洲醫大專門部主事三浦運一博士を滿場一致推薦、午後五時すぎ散會した、本年度競技スケジユール左の如し

一、全滿B級選手權大會＝一月三、四日
一、全日本選手權大會滿洲豫選＝一月五、六日
一、全滿選手權大會＝二月五、六日
（以上奉天國際リンク）
一、全滿都市對抗競技大會＝二月十四日（於新京）
一、北海道對滿洲競技大會（スピード）＝一月十八、九日（於苫小牧）
一、滿鮮對抗競技大會＝一月卅日（於安東）

國防皇軍慰恤獻金品（本社取扱）

一金一萬一千七百九十一圓九十二錢（關東軍司令部へ）
一慰問袋千三百十六個（同）
一金二千百八十三圓二十七錢（駐滿海軍部へ）
累計 一万三千九百二十五圓十九錢
……十一月七日迄の分……

あす（九日）

▲建國精神宣揚週間第七日
▲張總理一行出發、午前七時四十五分

◇今晩の主なる演藝放送◇

▲七・三〇民族協和の夕（新京）古海忠之外
▲八・四〇長唄（東京）稀音家六種外大ぜい
▲九・〇〇連續講談（東京）神田伯鶴

シーズンのカフエー戰線

"歡樂の女王" 河合澄子來る

一黨十餘名を引具ミス東洋へ

新京カフエー界も一時夏枯れ時期と支那事變の人心に及ぼした緊張感が反映してネオンの影に一抹の寂寥を漂はしてゐたかに見えたが、再び業界の書入れシーズンに直面するに當り各店各樣國都業界の王座をねらふ秘策に商職今や酣ならんとしてゐる折柄、過般大阪赤玉とのブロック完成し大阪、新京間の女給交替制を實施してゐる南廣場ミス東洋ではさらに今回東京において"歡喜の女王"として帝都レビユー界に君臨した斯界のオーソリテイ河合澄子とその一黨十數名を招聘し國都カフエーマンをあつといはせやうと新計畫を樹て一行は本月中旬來京することゝなつた、この報を得た市内映畫館、放送局においても待つてゐましたとばかり、實演やラヂオドラマ演出等を計畫しつゝあり、これが實現と右一行と共に來京する東京組女給軍を加へた大陣容の女給陣を以てするミス東洋初冬の活躍は業界から頗る注目されてゐる【寫眞は河合澄子】

"鬼吉喧嘩状"(再映)

けふからの豐樂劇場

豐樂劇場八日よりの番組は左の如く松竹二番を配した二本立である

▽松竹蒲田「噂の女」栗島すみ子、齋藤達雄、山内光、上山草人、川崎弘子、大塚君代、小林十九二、爆彈小僧主演のメロドラマ、原作をモルナールからかりて來たと言はれるが、甚だスマートならざる感傷が現はれ出でゝ、臭いこと辛抱出來れば見透せる、齋藤良輔のシナリオによる池田義信の監督作品、キャストの贅澤なのが取り柄である

▽松竹京都「鬼吉喧嘩狀」氣質がよく腕も立つが思慮が足りなくて喧嘩早いのが玉に瑕の清水次郎長身内桶屋の鬼吉が黒駒の勝藏宅へ早桶背負つて喧嘩の使者に立つ、次郎長勝藏富士川喧嘩出入りの殺陣篇、柳川眞一と中村濺の脚本、近藤勝彦の監督作品、阪東好太郎の主演ものである

「鐵拳涙あり」の全配役決定

新興東京が年内封切の陸軍部隊として製作を發表した陶山密のオリヂナル特作「鐵拳涙あり」は伊奈精一監督を始めとし主腦部間にて愼重裡にキャストの詮衡中であつたがいよいよ左の如く決定、古豪河津清三郎に配するに曩に淡島みどりと共にロマンテイック、デユエットと稱されて入社、待機中であつた新星白樺小夜子のデヴユーを以てすると云ふ「各作毎新人拔擢」のモツトーを高揚してゐる、共演の顔ぶれも亦老練の腕利き揃ひの下に一日本讀み、直ちにクランクを開始することゝなつた

相馬一郎(河津清三郎)吉田秀雄(日下部章)大槻雄介(三桝豐)大川(上田寛)小野夫人辰子(池田園子)令孃美佐子(皆川一郎)學生(大川山(白樺小夜子)學生(大川修二)小杉雪枝(眞山くみ

子)同(奈美乃一郎)その娘玉枝(杉山美子)同(小生文護)同(田丸長助)

源九郎義經の脚本もめる

長二郎の東寶參加、第一回作品「源九郎義經」は二日本讀みを行ひ愈々製作を開始するが、この脚本をめぐつて大河内と長二郎の謙讓美談が秘められてゐる――即ち長二郎は義經、大河内は辨慶を演ずるのだが最初辨慶の役が非常によく、義經を喰ふやうな脚本だつたので大河内は自ら脚本の變更を依頼したがこれをきいた長二郎は又その變更を依頼するといつた工合で却々まとまらず遂に本讀みも二週間ばかりおくれたのだと

長二郎の報酬 一本で五千圓

東寶と長二郎との間に締結された契約年限は向ふ五ケ年で月一本年十二本の出演作品を製作するが之に依れば長二郎は東寶に於て六十本の作品を作る譯になり、一本に就いて手當五千圓と云ふことになつてゐる、だから向ふ五ケ年の内に年六萬圓、全期間三十萬圓と云ふ莫大な額になる

時計と寶石
中央通
佐藤時計寶石店
電③二〇四七三六二六

さぼてん

お客が來るまではホントにくさくさするわヨとのたまふのか午後五時半ごろのボストンの幸子君、アナガテお客さんばかりぢやないでせうとからかはれて、エ、どうせそうよ彼氏さへ來て呉れゝばネとうかつた樣な應酬したけど、御冗談でせしよ男と言ふ名のつく人類さへ來て呉れりや文句はないんでしよと言はれて、此の勝負は幸子君の黒星▲さるにても此の幸子君、彼氏が欲しいわネとしみじみ仰言せらるゝ、星の數程ある新京マンの中で此の幸子君のお眼鏡に適ふものは一人もないのかと慨嘆するといや早まつちや困ります、誤解しないで下さい、曲解されては私の立つ瀬がないワ、ドナタもコナタもソレぞれ好いところがあつて實際どれに決めて好いかワカンなくなつちやいさうなんですと言ふのですから惡しからず▲またこゝのマ、が言ふに爾へたる佳人なのでネ、なにしろ新京の文化に五・六年さきがけて出來たと言はれる位の用度設備を持ち、それに加へるにイキなバーテン山本君並びにマゝの觸れなば折れなんサービス振りに、東京直輸入の映畫會社の連中がはや一人や二人ネバッてゐないことはない位のもんでトニカク面白いことになりさうな氣もする▲バーボストンに榮光あれ

雜音

豐樂劇場寫眞替り、松竹再映二本「噂の女」など蒲田時代の古い作品が出て來た、一日以來仲々好況のやうである▼公會堂に朝鮮映畫が登場した、娛樂に惠まれない同胞のために時々あつていゝ催しであらう▼寒氣加はつた日曜日、各館とも豫想外に賑はつてゐるやうだ

火曜 庚子 佛滅 除 翼宿 舊十月七日 十一月九日

●一白の人 益々氣を引締めて勇躍せらるゝに吉なる日 丙と丁と亥が吉
●二黑の人 遠慮深謀の計畫は次第に發展を遂ぐべき日 辛と壬と艮が吉
●三碧の人 紛擾を事とし終日を過ごす不愉快なる惡日 乙と丙と午が吉
●四綠の人 憂患は内に潛めり内訌を防ぎ整ふるが安全 甲と丁と坤が吉
●五黄の人 圓滿を第一とし信義を盡して他に接すべし 亥と壬と子が吉
●六白の人 自由に振舞はんとすれば障碍に苦む事あり 丙と庚と亥が吉
●七赤の人 幸運を以て終始すべき日萬事進んで妨なし 丙と午と酉が吉
●八白の人 大志大望も成就すべき勢あり熱心努力あれ 庚と亥と寅が吉
●九紫の人 僅かの障碍にも心亂れて勞の殺がれ易き日 甲と乙と辛が吉

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
發行所 新京永樂町四ノ二 新京日日新聞社

勇士に贈る少國民祝捷の感激譜

寫眞 (右)市中行進の旗行列 (左)忠靈塔前で皇軍萬歲

将士の勲、吾等が誇り 純眞愛國のどよめき

軍歌を勝鬨に學童旗行列

「太原城遂に陷つ」ロ本軍が太原城總攻擊開始以來在滿日本人同胞は勿論三千萬民衆が全身を耳にして待ちに待つてゐた時は來た、やゝ緊張したアナウンサーの聲が電波に乘つて全滿に放送されたのは八日午前九時十五分である、「城壁には日章旗が翩翻と…」尙ラヂオは續ける、正一時合圖のサイレンは鳴つた、行く手の戸前に一つぽつかりと國旗が掲げられた、鮮やかに歡喜の印象だ、しばらく歩んで周圍を見渡すと二戸、三戸、いや、二十、三十の國旗が……やがて全市が戰捷を祝ふ國旗で一杯に埋められ、晴れやかな日章旗の波が初冬の微風に搖ぎ、全市が歡喜と興奮の一色にぬりつぶされたのはそれから全く數分後であつた、忠靈塔前には定刻前から在京各中、小學校、女學校生徒が手に〳〵小旗を持つて續々とつめかけ、それに白襷姿も勇ましい國防婦人會員がまじり忠靈塔前は全くの立錐の餘地なきまでに埋めつくされた、やがて定刻二時商業ブラスバンドが「日本陸軍歌」を奏でるやこの銃後の熱誠を象徴する眞黑な學童の一團が崩れたと思ふと蜿蜒長蛇の旗行列は大同大街に向つて繰り出し、關東軍、駐滿海軍部、總領事館前で萬歲を三唱し再び大同大街にコースをとり軍歌を合唱し乍ら大同廣場に向つた、清澄な空氣をつたつて莊重な、嚴肅な響きが耳朶に流れて來る、遠くで聞いた人も、目の前でその行進をみた人も思はず胸にこみあげて來るものを感じた筈だ、"ぼくらの誇り""私達の喜び"純眞ほとばしる少國民の熱誠を蒐めて、遠く第一線將士の勝鬨にも鳴り響け、英國戴冠式の感激がジョンブルでないと解らぬ樣に、これは日本人でないと解らぬ感激である、やがて四時大同廣場に到着した一萬三千の學童は一齊に萬歲を三唱して解散した、夕陽は既に西方に落ちんとして居り薄闇が靜かに忍びよつてゐた

舊太原縣城に進出

【太原城外にて八日發國通】太原城總攻擊に先だち敵の退路を遮斷すべく太原城外西南方を迂回して追擊中であつた我が快速長谷川、小堀兩部隊は、七日夜工兵の作業により困難な汾河の渡河に成功、八日午前八時には早くも太原西南方の金勝村に進出、同十一時三十分得意の快速を以て太原の西南方約四キロの地點たる舊太原縣城に進出、さらに敵を南方に急追中である

【天津八日發國通】軍司令部午後零時四十分發表＝長谷川部隊は八日午前十一時三十分太原縣を通過、汾河右岸地區を南方に追擊中である

汾州の敵防禦線を壓迫！

【天津八日發國通】太原の死命を完全に制したわが軍は戰車追擊隊を先頭に長谷川部隊がこれに續いて潰走する敵を急追し早くも清源鎭方面に進出、さらに太原平野の南端汾州に向け進擊中である、一方正太線方面のわが軍は太原南方徐溝附近を迂回して潰走中の敵を邀擊してこれに潰滅的大打擊を與へるとゝもにその勢ひに乘じ急先鋒たる森本部隊は破竹の勢ひをもつて同蒲線を南下しつゝあり、こゝに無敵皇軍は太原平野と併行して西南方に向け猛烈なる追擊戰に移つた、太原において擊破された敵は太原平野の南端汾州、介休の線において防線を整へんとする形勢にあるが、わが急追部隊はその餘裕を與へず東北方より重壓を加へ早くも汾州附近において一大潰滅戰が展開されんとしてゐる

太原城内の殘敵を四分通り掃蕩す

【北京八日發國通】軍司令部＝八日午後三時卅分發表＝粟飯原部隊は砲兵の協力により北門附近につくられた突入口より午後三時城内に進擊しつゝあり、目下城内は四分程度掃蕩し終れり

【太原城外八日發國通】太原攻城戰は八日午後に至つて益々熾烈を極め、午後三時砲兵隊の集中砲擊によつて北門附近に開かれた第三の突擊路から粟飯原部隊も城内に殺到、

攻城戰史を飾る華

不滅の大勝、太原占領

【北京八日發國通】わが軍空陸呼應の猛攻に太原府城は脆くも陷落したが、斯くも急速に攻擊が進展せる最大原因の一は全くわが攻擊軍特に砲兵隊が事前において一切の準備を完了し、且つ今朝來攻擊開始ならびに城壁の東北角を目指して一齊に砲火を集中し、堅牢を誇る太原城壁を空軍の協力により一時間足らずで破壞し、二條の突擊路を作つたに因るものでその功績は實に大きい、同時に歩、砲兵の協力も理想的に進捗し、歩兵隊は砲兵の掩護砲擊の下に城壁に近迫し友軍砲擊の最後の一彈と共に突擊路を攀つて敵陣に突入したもので實に攻城戰の典型的なものといふべきである

【天津八日發國通】八日午前九時十三分難攻不落を誇る太原城は遂に陷落し、城頭高く日章旗は翻つた「天皇陛下萬歲」の聲は全北支の天地に轟き亘り世界戰史に不滅に輝く大勝利の榮冠は皇軍の頭上に掲げられた、太原城は六日午後以來北方より大場、粟飯原、東方より長野、萱島、西方より後藤、豬鹿倉各部隊に三面を包圍され城内にあつた約六、七萬の敵の大部隊は南門より續々退却し小店鎭附近に布陣して敗敵を邀擊する小林部隊の尖鋒は敵を西南方汾陽方面に潰走せしめたが、わが〇〇長は太原の城を戰火の外にあらしめ平和裡に入城すべく軍使を太原城に派遣して城下の誓を慫慂したが城内にある敵は言を左右にして我が情ある勸告に應ぜず太原城は遂に砲火の洗禮を受けるのやむなきに至つた、交涉決裂となるや我が軍は七日午後九時空中よりビラを撒布して第三國人ならびに非戰鬪員の城外撤去を勸告するとゝもに我が斷乎たる決意の程を示し明くる八日午前七時半を期して集中砲擊の火蓋を切り殷々たる砲聲は全山西を震駭した、これと呼應して我が空の精鋭は翩翼を連ねて太原城上空より爆擊を敢行、轟々たる爆音は太原城を包む中を歩兵部隊は一齊に總攻擊を開始し、大場部隊は午前九時三十分北正面の一角を、萱島部隊は午前九時十三分城壁の東正面一角をそれ〳〵占領し日章旗を城壁高く翻した、厚さ八メートル、高さ十メートルの城壁の東北角に見事突きぬかれた二條の突擊路よりは、なだれの如く歩兵部隊が城内に殺到してこゝに太原城は全くわが軍の手中に歸し、太原占領の凱歌が奏されたのである、嗚呼河北、察哈爾、綏遠あまねく皇軍の旗なびくいま、また山西の王城太原も遂にわが御稜威の前に頭を下げるに至つた

防共協定締結を祝福

四國交驩會開催

あす張總理官邸で

日獨防共協定締結による歐亞を貫く防共堅陣の結成を祝福するため張國務總理（星野總務長官代行）はクノール駐滿ドイツ通商代表、コルテーゼ在奉イタリー總領事、東條參謀長、山田大使館參事官等を十日正午官邸に招待、日滿獨伊四國の交驩を行ふことゝなつた、滿洲國側からは各部大臣、各參議、大橋外務局長官をはじめ政府要人多數が參列するが、時節柄本交驩會は四ケ國の緊密關係を更に強化するものとされてゐる

張總理、外相に祝電

張國務總理は八日午後二時廣田外相に宛て日獨伊三國防共協定調印を祝し左の如き祝電を發した

今回貴國の獨伊兩國との間に防共協定の調印を見たるは東洋平和ひいては世界人類のため慶祝の至りなり、惟ふに中國軍閥はさきにソ支不可侵條約により聯ソ容共政策を天下に暴露し今般局の絕望的となるや内は公然赤化勢力の活躍を許し外九國條約會議によりて虎狼の助を求めつゝあるとき本條約の成立せるは意義洵に重大といふべくわが國上下は治外法權撤廢移讓に關する條約の調印により獨立國の威容を完成したるに對し欣喜その極に達し居る折柄今またかくの如き文明の公敵に對する歐亞三大强國による防共の堅陣成り、ためにわが國國際的地位のます〳〵向上安固を加へたるを覺え洵に感激に堪へず玆に謹んで祝意を表す

人事往來

▲福地家久氏（官吏）八日來京帝都ホテル
▲中園秀雄氏（同）同
▲金山萬藏氏（同）同

偶語

排日抗日侮日の都太原府今日我が皇軍の手中に歸す▼攻略將兵は今日を如何に待ちわびたことか胸中を推察して感慨無量▼銃後の國民よ何を措いても皇軍將兵に感謝の意を表せ▼非常時資源確保運動は種々の方法を以つて實行されてゐるが政府は十日から銅使用制限規則を施行することになつた▼この規則は建築物の屋根庇、樋、化粧張り、煙突、または排氣筒として百キログラム以上の銅を使用せんとするものは地方長官の許可をうければならぬ▼今回の制限により建築物使用量は一萬三千トンのうち一ケ年約五千トン（五百萬圓）の節約になるといふから大きい▼附屬地内に又復貨物自動車の轢逃げ事件があつたその原因を見るに被害者の不注意ではなくて加害者の不注意の跡歴然たるものがあり▼その行爲たるや法規以外人道上より見て許し難きものがある▼明朗國都實現の上から云つてもかゝる輩は徹底的に膺懲の要あり

畏くも皇后陛下

陸海傷病兵を御慰問

【東京國通】事變勃發以來將兵の上を深く思召す皇后陛下には、ことに戰傷病軍人に對しては御自ら御製作の御繃帶を下賜あらせられるなど深く勞らせ給ふたが更に來る十二日午後には牛込の東京第一陸軍病院に行啓、目下收容中の名譽の戰傷病將兵を親しく御慰問あらせらるゝ由御決定、加藤宮内書記官が八日下見聞を行つた、この破格の御沙汰を拜し關係者一同は光榮に恐懼感激申上げてゐる、なほ陛下には近く橫須賀の海軍病院にも行啓、海軍の傷病兵をも御見舞遊ばされる御内意あらせられるやに漏れ承る

ジャンクの敵掃射

【上海八日發國通】八日正午頃下村大尉搭乘の〇〇機は黃浦江上流にて大型ジャンク數隻に便乘、逃走中の敵を發見、これに機銃の掃射を加へ顚覆全滅せしめた

粟飯原部隊 太原城内突入

【北京八日發國通】八日午後三時半軍司令部發表＝（一）わが砲兵は午前に引續き粟飯原部隊のため突擊路を開き猛擊を開始、午後三時頃北門附近で通路を完成し得たり（二）粟飯原部隊は目下城内に進入しつゝあり（三）城内は目下四分程度掃蕩せり

支那軍暴虐 黃河附近の農民不穩

當地に達した情報によれば、京漢線方面の支那軍は衞輝、新鄉及び黃河南岸に堅固な陣地を構築し最後の抵抗を行ふため同地方一帶の家屋を破壞し井戸は全部埋め全住民を陝西省に移住せしめんとしたが多數の農民はこれに反抗し不穩な空氣が同地方一帶を包んでゐる

九國會議再招請への政府の拒絕回答

けふ閣議で決定せん

【東京國通】外務省では九國條約會議の日本再招請に關する回答口上書を正式接受したので、八日午前、午後にわたり本省に廣田外相以下首腦部參集、回答口上書の内容を精密に檢討した結果、極東に關係を有する少數國のみに極限して支那事變に處する平和的解決を切望する趣旨のわが方に對する再招請の趣旨が明確に記載されてゐるので帝國政府としては、わが方の態度を再度闡明して參加拒絕の回答を行ふことに決定、回答文案につき協議したが、廣田外相は大體九日の定例閣議にわが方の接受したベルギー國よりの回答口上書を披瀝し、帝國政府の回答方針につき協議決定ののち回答文案を整備しバッソンピエール駐日ベルギー大使に對し回答口上書を手交することゝなつた

ブ會議提案の

米代表の訓令内容

【ニューヨーク七日發國通】ブラッセル會議における米代表の態度は今後の發展に重要關係あるものとして内外の注目を惹いてゐるが、七日記者が國務省關係の某有力外交評論家より聞知するところによれば、米代表ノーマン・デヴィス氏が出發前にうけた訓令は左記諸點が含まれてゐると解される

一、日本の支那に對する經濟的進出は制限なくこれを認める
一、滿洲國を少くとも默認しその存立を妨害する如き一切の行爲を禁止する
一、速かに和平をもたらし大使館守備兵を除き日本軍の完全撤收を期待する
一、右三項の徹底を期し衝突再發を防止するため國際委員會を常設する

なほ第四項の具體的内容は未だ確定してをらず、ブラッセル會議の成行をまつて打合せを行ひ決定する意向といはれる

齊河、濟陽渡河の敵兵大爆擊

【〇〇基地八日發國通】七日午後中平部隊〇〇機は黃河々畔の要衝齊河（濟南西方七粁）および濟陽を渡河中の軍船および附近の兵營、河畔に構築しありし堅壘を爆擊多大の效果を收めて歸還したが、濁流滔々たる黃河はこれ等の破壞せる軍船および助けを求める敵兵を容赦なく下流に押し流し附近一帶は大混亂を呈した

大場、萱島兩部隊に呼應しなほも城内各要所に立籠つて抵抗を續ける敵を攻めたて次第に追ひつめつゝある

大藏、早川機

敵主力陣地に突入自爆

【上海八日發國通】去る五日陸軍新鋭部隊の上陸作戰に協力し金山衞爆擊に向つた海軍第〇〇航空隊大藏三等航空兵曹、早川一等航空兵搭乘の飛行機は〇〇基地出發後行方不明となつたが、同日は密雲低く垂れこめ高空度爆擊困難なるため危險を冒して低空飛行をなしつゝあつた際、敵彈を機關部に受け忽ち火達磨となつてそのまゝ敵主力陣地に向つて突入自爆し壯烈な戰死を遂げたことが判明した、兩勇士は九月以來各方面で十數回にわたり敵陣地を爆擊殊勳を樹てゝゐる

崑山方面の敵兵空爆

【上海八日發國通】海軍航空隊今村、千田兩主力部隊は陸軍第一線地上部隊と協力、上海附近より西方崑山方面に向ひ退却する敵の密集部隊を猛追して徹底的打擊を與へ、西部戰線においては楓涇鎭、嘉善方面の敵陣地および敵部隊を爆擊甚大なる損害を與へたり

南北兩軍距離三十粁に迫る

支那軍の進退谷る

【上海八日發國通】リンカーン路に肉薄した北方〇〇部隊と、南方より北進して黃浦江上流に達した新鋭上陸部隊との距離は、今や餘すところ僅か卅粁に接近し、上海を固守せんと必死の防戰を試みつゝある敵の大部隊はわが南北兩軍の中間に包圍され潰滅するか、上海を拋棄して總退却するかの重大岐路に立つに至つた

松江の一角を奪取

【上海八日發國通】上海軍報道部八日午後六時半發表＝（一）蘇州河南方地域の敵はわが軍數日來の猛攻に堪へかね動搖の兆あり、わが第一線は空陸呼應して攻擊を續行し逐次これを南方に壓迫しつゝあり（二）黃浦江を渡河し次で滬杭甬鐵道を遮斷したわが軍は更に松江に肉薄中にして本日午後松江の一角を奪取しその全市の陷落も目睫の間に迫つてゐる（三）わが軍の南方よりする進擊により浦東の敵は辛莊に退却し上海西方一帶の敵軍は混亂に陷りたり（四）陸軍飛行機はその全力をあげて海軍航空隊と聯合し今早朝より日沒に至るまで遠くは常州、湖州、杭州方面の敵後方部隊の狀態を搜索し、近くは敵第一線の要點を爆破して地上部隊の攻擊に協力すると共に崑山下江、靑浦、蘇州等に蝟集する敵軍隊ならびに橋梁、鐵橋等を猛爆し敵後方部隊の擾亂退却行動妨害をなし敵に多大の脅威と損害を與へたり

社説　防共協定の擴充

一

日本と獨逸との間に防共協定が結ばれたのは昨年の十一月下旬であつた。爾來一年を經ずして、伊太利がこれに參加し防共協定は日獨伊三國間のものとして效力を持つことゝなつた。もと〳〵日獨防共協定は、コンミユニズムの脅威を受ける總ての國に開放されてゐることを一つの特徴としてゐたのである。したがつて今次これに伊太利が加はりコンミユニズムに對抗する一大國際聯合ともいふべき形體が實現されるに至つたのも、はじめから意圖されたところが實際化したものと言ふことが出來る。これによつて協定の持つ意義が一層大をなすに至つたことはいふまでもないのである。

二

日獨防共協定成立の當時に言はれたことであるが、滿洲事變、上海事變に關聯して日本が國際聯盟を脱退して以來日本は包圍された狀態にあつたそれが日獨協定によつてアメリカ及び國際聯盟諸國の包圍を突破したとは言へぬまでもその包圍から脱し得る可能性が出來た。これは非常なる效果であるとされたものであつた。いま今次支那事變を理由として九ヶ國條約關係國の會議が開かれてゐる情勢を考へしかもそれと時を同じうしてこの國際協定の擴充を見たことがより大きな效果を持つものであることは疑ひを容れぬのである。殊に抗日支那の日本に對する態度が、協定が直接の相手とするコミンテルンの使嗾支援によつて大いに動かされてゐる事情を考ふれば協定の意義は甚だ大である。次に、日本も獨逸も伊太利も國際的なプロレタリアの國であること、いはゆる持たざる國であること、この事の意味も頗る大きいとせねばならぬもとより協定そのものは、コミンテルンの活動に對する防衛の連繫を主眼とするものであるが、これによつて三國間に出來た密接な政治的諒解は當然充分な作用を持ち得るであらうからである。

三

この際われ〳〵として考へることゝは、日獨伊のこの三國間の協定を、今後に於ける支那問題の解決のために有效に運用することに努むべきだといふことである。すでに日獨協定成立の際から、この協定がわが國民の非常時性自覺を促し、以て積極的大陸政策遂行に重要な拍車をかける效果あるものとする論が存した。今日の國際政局の動きを見るとき、特にこのやうなことが痛切に考へられるのである。文化の擁護といひ、世界の平和といふ如き高遠な理想もかゝる現實的な道程を經つた上でこそ成就され得るものであらう。協定の運用に最大の效果をあげるべく努力すべき所以である。

我が旗艦の威壓に無抵抗の意表明
敵砲臺近く赤十字の長旗揚る

【第〇艦隊旗艦〇〇にて八日發國通】第〇艦隊司令長官の坐乘する旗艦〇〇は

空前

の大敵前上陸決行の五日杭州灣北岸沖合ひに投錨し堂々浮城の如く敵を壓しつゝ大運送船隊の指揮護衛をしてゐたが、左翼方面の敵が頑强に抵抗するとの報に接するや午後三時その錨地を離れて敵〇〇砲臺に向つて進發した、時に海上霧濃く細雨しきりとなり空は全くの暗色だ、海は黄泥の濁流で海空を劃する水平線さへ判然しない、進むに從つて麾下の各艦隊がその艦影を黒く現すかと思へば徐々に薄く消え去つて行く、殷々たる砲聲の轟き、霧の中に〇砲の發射火焰が閃光して物凄く、前面に島影現れるや艦はいよ〳〵進航して敵要塞〇〇砲臺に近く肉薄すると突如「戰鬪配備につけ」のラッパが劉喨と響き渡り續いて「警戒」の命令上るや〇砲の砲門は一齊に廻轉して〇〇砲臺を睨んで動かず全艦緊張の極致だ、攻撃を待機する胸はどき〳〵として緊張を詰めた耳は聽神經を集中する、この時わが〇機は逐次敵陣を爆撃、旺んに爆音を響かせてゐる、と敵砲臺間近く赤十字の長旗一旒が揚つて、無抵抗の意を示した、われはこれを見極めるまでは擊たず同

威壓

し、かくして「打ち方止め」の海上から敵砲臺をラッパが鳴り響き海軍は無言の威力を示してゐるのだ

連雲港附近の砲臺を復活す
挑戰的態度に出づ

【軍艦〇〇八日發國通】わが〇〇艦〇〇松原博艦長が過般連雲港及び墟溝の砲臺を完膚なきまでに擊破して以來支那軍は兵力の集中ならびに防備に汲々としてゐた模樣であるが、最近に至り附近一帶の海岸にはトーチカと塹壕で圍む砲臺を復活し大兵力を集中隴海線及び津浦線の要地爆擊に赴く海の荒鷲に十字の高角砲を浴せ挑戰するに至つた

太原占領に石家莊住民雀躍

【石家莊八日發國通】六日太原城の北門がわが軍の手によつて占領されたとの報が一度石家莊の街に傳はるや既に皇軍の正義と今次事變の實情に正しき認識を取り戻しつゝある石家莊の住民等は多年悪政に苦しめられた北支にいよいよ平和な樂土が實現するとばかり歡喜に滿ち溢れ、七日氣早やにも太原陷落の慶祝大會を開き、石家莊の街々は戰火の跡も見えず久しぶりのお祭り氣分にしたつた、此日慶祝に參加すべき住民は集合場に當てられた市街南端の廣場を目指し三々五々參集定刻午後零時半迄には約八百の老幼男女が集つた、まづ治安維持會代表の挨拶について住民代表が立つて日滿支の親善防共、南京政府排擊膺懲の演説を行ひ、終つて音樂隊を先頭に公安局員、少年團員、治安維持會員住民多數が手に〳〵日の丸の小旗を打振り日本語で萬歳を三唱しつゝ行進に移り、街の要所要所では石家莊復興少年團の十五六歳の可憐な少年達が惡戰苦鬪遂に太原に迫つた皇軍の勞苦を感謝する演説をなし、また主要機關の前では一同萬歳を三唱する等の心からの慶祝行進を終つて午後三時半歡呼裡に散會した、わが軍ではこの好意に對して住民の必要品たる食鹽半斤宛を參加人員に贈與して勞を犒ひ融和精神の强化に努めた、かくして北支明朗化の理想が到るところで着々と實現しつゝある

石家莊の治安恢復
新聞も發刊

【石家莊七日發國通】皇軍占據後の石家莊の町は治安狀況は着々と恢復し、避難してゐた住民も殆ど歸り、商店も開業するなど漸く舊に返りつゝあるので、市内住民の有力者の間に親日系新聞發刊の計畫を樹てゝゐたが、その後邦字紙も具體的に結成され、事變前まで刊行されてゐた石門日報は八日から再刊又新たに正報を十日から發刊して何れも日滿支の親善と南京政府打倒共產主義排擊を標榜し時局の認識を强化することゝなつた

十月革命廿周年記念 支那要人ソ聯に祝電
淺ましさに列國何れも顰蹙

【上海八日發國通】支那事變勃發以來支那の親ソ的態度はいよ〳〵顯著となりソ支不可侵條約の締結によつてその緊密關係を明示するに至つたがさらに七日ソ聯十月革命二十周年記念日に際して南京政府部内の親ソ派巨頭馮玉祥、孫科をはじめ林森、汪兆銘に至るまでモスクワ宛祝電を發し擧國々運の隆盛と人民の福利を慶祝し併せてソ支提携により全世界特に極東の平和に努力せんことを願ふと阿諂的言辭を呈しソ聯の歡心を買はんことにこれを努め世界の顰蹙を招いてゐる

植田全權大使 關東神社敷地下檢分

植田全權大使は關東局三浦司政部長等を帶同八日正午飛行機で周水子飛行場に到着周山要塞司令官、松岡滿鐵總裁、丸茂大連市長、白石州廳内務部長等の出迎へを受けて滿洲航空會社事務所貴賓室に入り晝餐後午後零時半出發、自動車にて旅大北道路を旅順に向ひ一時半朝鮮館に到着、小憩後大正公園および大裏に新設豫定の關東神社の敷地下檢分を行つた

新協定成立の祝賀提燈大行列

【東京國通】日、獨、伊防共協定の成立を祝する一萬二千名の大提燈行列は七日夜東京市會、市立中學、青年學校生徒、市聯合青年團等參加の下に盛大に擧行された、日比谷公園音樂堂前に集合した長蛇の火の列は先づ宮城前廣場で皇居遙拜、聖壽萬歳、日、獨、伊防共協定成立萬歳を叫び、次いで麹町永田町の獨逸大使館前に至り、さらに霞ヶ關、赤羽橋を經て伊太利大使館前に至り祝意を表した後芝公園で解散したがこの夜伊太利大使館では玄關前廣場に「歡迎」と書いた大提燈を中心に左右に無數の提燈を飾り玄關には平和と書いた提燈を掲げアウリッチ大使始め館員總出で行列を歡迎し、日、獨、伊萬歳の火の海と化した

鹽酸瓶を投げ合つて科學工場を占領
郁家宅の風變りな科學戰

【眞茹八日發國通】六日石井部隊の郁家宅占據に際し科學工場を襲擊し上海戰最初の風變りな科學戰が展開された、この日午前六時半壁を穿つては突擊路をつくり漸次敵を南方に壓迫した村上隊長の率ゐる部隊はつひに敵の恃む科學工場に進入した、あたり一面は鹽酸の瓶で埋められ三尺の壁を隔てゝ隣室には敵兵の氣配がする、これを見た工兵隊の一隊は步兵の進擊を援けるため壁に爆藥を装置し轟然一發一壁に三尺四方の穴を穿つたが、途端に敵の機銃は火を吐く〃何を小癪な〃とばかりに鹽酸瓶を片手に忍びよつたわが兵が穴に向つてそれを投込めば瓶は機銃に當つて四散し敵はもろくも沈默してしまつた、それッとばかり隊長を先頭に一齊に突入すれば其處は硫酸工場でこゝに入亂れて猛烈な鹽酸と硫酸瓶投げ合戰が展開されたが、敵はわが軍の好投に散々火傷を負ひ這々の態で逃出したので機を逸せず外に廻つた永田大尉の一隊は逃げる敵兵を一兵も殘さず射殺してしまつた

各部落に貼付された共產黨謳歌アジビラ
支那軍の赤化ぶり暴露

【山西晉城鎭八日發國通】わが軍の包圍によりすでに手中に歸したも同然の太原城内には住民の大部分が南門より續々と避難した後に支那共產軍のみが斷末魔のあがきに似た小癪な抵抗を行つてゐるが、これ等共產軍の退却した附近各部落には「國共合作萬歲」といふやうな共產黨のアジビラが貼付けられてをり、住民に對する共產黨謳歌の猛烈な働きかけが窺はれ支那軍の赤化ぶりを如實に暴露してゐる

駐奉米總領事歸國

奉天駐在米國總領事ラングトン氏は約六ヶ月の賜暇を得て來る十二日奉天發歸國することゝなつた

帽子山附近に新に金鑛發見
採金會社で目下分析試驗中

滿洲採金株式會社では豫て率吉線永寧附近一帶の地質を調査中であつたが、今回同地を去る四十キロ帽子山附近において金鑛を發見、目下同會社において分析試驗中で、有望の折紙がつけば直ちに採掘にとりかゝる方針である

國務院會議決定事項

定例國務院會議は八日午後二時より開會、左の各項を決定した

一、仲裁手續法
大同元年教令第三號により採用された民事訴訟暫行條例及商事公斷處章程はその規定なほ不備なるのみならず囊に制定せられた民事訴訟法との關係上根本的修正を必要とするに至つたためこれ等公斷制度に代るべき仲裁制度を設くる事とした

一、民事手續費用法及民事手續料法
民事手續に關する費用額については一定の標準を定めその算定の適正を期する事とした本法を制定する右手數料法は民事手續に關する申立、申請又は申出に關しては手數料を納付せしむるを要するためその納付額方法につき法規をつくる必要あるによる

一、公示催告手續法
右に關しては大同元年教令第三號をもつて採用された現行民事訴訟條例中に規定されてゐるが、內容不備にして且つさきに制定公布せられた新民事訴訟法においては公示催告手續に關し特別法の制定を豫定し特に規定を設けなかつたためこゝに本法を制定することゝした

一、商人通法施行法、會社法施行法及び海商法施行法先般公布せられた商人通法及び會社法を施行するに當りこれが細目につき規定する必要あるによる

一、提存法中改正の件
新民法の施行に伴ひ提存法の改正をなす必要あるによる

一、涉外事件の管轄に關する件
日本の領事裁判權撤廢後當分の間は涉外事件處理の圓滑を期するため特定の法院に涉外庭及び涉外係審判官を置きこれを處理せしむるため本法を制定するもの

一、商人通法施行期日に關する件

一、會社法施行期日に關する件

一、海商法施行期日に關する件

一、倉庫法施行期日に關する件

一、外國法人法施行期日に關する件

一、過料手續法施行期日に關する件

右の諸法規は康德四年六月二十四日公布せられその施行期日は勅令もつてこれを定むる事となつてゐるが、これを施行すべき準備完了したるため茲に勅令をもつて施行期日を定むる事とした

一、不動產登錄稅法
不動產登錄法の制定に伴ひ同法施行地域には現行不動產登錄に關する課稅制度を合理化するため本法を制定する

一、投資事業の公債法中改正の件
產業開發の遂行に必要なる投資に充當するため投資事業公債を增發する必要あるによる

一、康德四年度第二準備金支出の件
治廢に關する訪日費支出のため緊急支出の必要があるによる

商況欄 八日後場

株式相場

●大連株式(新丸)

銘柄	寄付	引
五品	一一〇〇	―
豆新	一一〇	―
東新	七三、九〇	―
日產	五五、一〇	―
満鐵	三三、八〇	―
昆新	三三、五〇	―
鐘新	一三、七〇	―
土木	五七、〇〇	―
日新	―	―

●奉天株式(短期)

銘柄	寄付	大引
取新	一四〇、〇〇	一四九、一〇
東新	八六、〇〇	―
大新	七四、〇〇	七三、三〇
日產新	五八、一〇	五七、九〇
同新	一六、五〇	―
五品	―	―
豆新	五五、七〇	―
満鐵	三三、四〇	―
鐘新	三四、五〇	―
同甲	―	―
電毛	―	―
満洲	六三、三〇	―
日梁	―	―
電化學	―	―

新京取引市況(八日後場)

品名	寄	引	出來高
現物 大豆	―	―	―
高粱	三、七五	―	二車
高粱	―	―	―
小豆	―	―	―
玉蜀黍	三、六八	―	二車
吉豆	―	―	―
現物	―	―	―
●大豆 十一月限	五、五六五	五、五六	一〇一車
十二月限	―	―	―
●高粱 十一月限	―	―	―
十二月限	―	―	―

手形交換高(八日)

六二九枚　一、〇八四、八九五、四六

鮮魚小賣相場(十一月八日)

品名	最高	最低
活鯛	一、二二	六〇
中小鯛	六二	六〇
チヌ鯛	四四	三〇
イセエビ	…	…
アマ鯛	三〇	一四
氷鯛	…	…
小レンコ	…	…
白アマ	…	…
カスゴ	…	…
道子鯛	…	…
チコ	五五	四九
オニエビ	…	…
車エビ	一、六五	…
白サエビ	六五	六四
小エビ	…	…
ヨコワ	…	…
中小エビ	…	…
スマ	一九	一七
小アジ	…	…
ブリ	二八	二七
メジロ	…	…
ヤズ	一六	一一
イトイリ	…	…
トアジ	…	…
マナ	…	…
マス	…	…
ヒラス	三八	二六
サゴシ	…	…
サケ	…	…
サワラ	三〇	…
スズキ	一四九	一三五
セイゴ	…	…
小アジ	…	…
ニベ	一七	一三
アジ	一九	一七
サバ	一七	一三
ギザミ	…	…
赤ムツ	…	…
アコウ	…	…
メバル	…	…
アイナメ	…	…
ボラ	二〇	…
スクチ	…	…
タコ	…	…
水蛸	一九	一六
紋甲イカ	一一	六
甲イカ	二七	一六
手長タコ	…	…
松イカ	…	…
水イカ	…	…
飯蛸	…	…
二番イカ	…	…
ヒラメ	二七	一〇
星カレイ	一九	…
カレイ	二七	八
小市	…	…
イワシ	一六	一一
ホーボー	一八	八
ニシン	…	…
グチ	八	…
コノシロ	…	…
カナガシラ	…	…
ツナシ	…	…
コチ	…	七
オコゼ	八	…
太刀魚	…	…
キス	四二	二七
ハゲ	…	…
サヨリ	二三	一五
アナゴ	一五	一〇
ハモ	一八	一五
タラ	一九	一五
マグロ(赤身)	二四	八
板エイ	一五	…
赤エイ	…	…
ドジョウ	…	…
ヘ	…	…
白ナギ	…	…
ウナギ	…	…
塩刀魚	…	…
アワビ	…	…
赤貝	…	…
タラコ	…	…
塩イワシ	…	…
黒生子	二五	一〇
ハマグリ	五〇四	一五
カマキリ	…	…
干エソ	…	…
カエニ	一九	一二
小アシ	…	…
タラ白子	…	…
明太子	…	…
生明太子	…	…
干木一ボ	…	…
ムキミ貝	三六	三〇
貝柱	三九	…
ニシミ身	…	…
帆立貝	…	…
蜆貝	六	三
カマボコ	…	…
スト	…	…
オバ	二七	二六
(切り身相場)		
梶木	一、一五	五五
ブリ	五〇	…
ヒラス	六五	四〇
サワラ	六〇	五〇
スズキ	三五	二〇
ユスベ	三五	二五
ヒラメ	四〇	二〇

空軍將校座談會
荒鷲部隊は爆笑する
―明治節・陣中の一とき―

【○○基地にて國通特派員發】蘇州河南岸の敵を猛撃する地上部隊に呼應して連日爆撃に、偵察に、縱横に活躍をする陸の荒鷲部隊こそ上海戰の華だ

記者は三日○○基地に○○航空部隊の本部を訪れた

神崎部隊長が漆黒の髭を撫でながら、にこ〳〵迎へ入れてくれた、滿洲事變の奮戰に功四級金鵄勳章をもらつた空のエースで、支那軍の膽玉を縮みあがらせる荒鷲隊長とは見えぬ氣輕さだ、急造バラックの兵舎の表には相變らず驟雨が降り續く遙かに大砲の音が聞えてくる、暗い空を眺めて「生命冥加な支那兵め」とつぶやいた隊長は、生死を共にと誓ふ戰友を集めて記者と共に遙かに故國の空を拜して明治節のささやかな祝宴を催したが、忽ちにしてわが空の精鋭の戰績を語る座談會になつて仕舞ふ「何と言つても愉快だつたのは先月廿六日の廣福爆撃だ」と話しだしたのは輜重兵の變つた肩書の

藤森幸男大尉 升本大尉の指揮でそれ行けと升本機、佐々木機と共に三機編隊で飛出したのは午後一時だつた、忽ち味方の前線を越えた、わが地上部隊の猛攻に堪へかねたと見え陳家行廣福の敵が退却してゐるのがはつきり映ずる、操縱の峰村中尉の合圖で下界を見ると、爆撃で濛々と燒けてゐる廣福の町西方三百米のクリークにかゝる橋を數萬の敵が退却してゐるグーッと急降下した、峰村中尉の機銃がうなり私の旋回銃が火を吹く、この時の敵の狼狽した有樣は滑稽だつた猛烈な地上掃射のため敵は算を亂して逃げまどひ實に痛快だつた

峰村中尉 僕もあんまり面白いからどん〳〵低空飛行をやりとうとう樹木とすれ〳〵に飛んでやつた

關芳武大尉 馬に乘つて逃げてゐる將校らしい奴を見つけた、射つてやると馬から落ちた「やつたな」と安心してふりかへるとまだ馬に乘つて逃げてゐる、くやしいからくるりと旋回して射つた、矢張り當らぬ、とうとう三度目に仕止めてやつたよ

藤森大尉 私と柿本伍長は度々一緒に乘つて飛ぶが柿本伍長は少年航空兵で元氣一杯だ、恐しいことなんか少しも知らない、爆撃する、グーンと手應へがあつて見事に命中すると「しめ〳〵」と飛行機の中で躍り上つて喜こび全く無邪氣なものだ

神崎隊長 支那の督戰隊を機上から發見した事がある四、五日前だつた、南翔の東の道路に面したところで五、六十名の支那兵が、ばた〳〵と退却した、見ると急に狼狽して引返し元の陣地に歸つて行く、督戰隊がゐて逃げることが出來ぬのだなど思つたが僅か十五六人で爆撃が惜しいからお見舞せず見逃してやつた

池田大尉 一寸低空で飛ぶと支那軍は機關砲を射つてくる、スースー綺麗な抛物線を描いてくるこんな時は一寸高度をあげればもうとゞかないのに射つのを止めない、時に高度を低くしてからかつてやると何時までも射つてゐる、かうして隨分彈を浪費させてやつたものだ

關大尉 一日午前八時頃江橋鎭附近の敵砲兵陣地を六機で夜襲した、月はなし眞暗だがクリークの水が光るのを頼りに飛んで行く敵の砲兵陣地が火を吹いてゐるのを遠方から見定めて覺えておいて飛んで行くのだ近づくと沈默するからだ、敵の機銃が射出す曳光彈の赤い火が初夏の螢のやうに美しい、探照燈も照らさず盲擊だ、當つてたまるものかグーッと急降下した、爆彈を落して上舵をとりながら見下すとボッボッと地上に火花が咲いた、こいつが見事に命中した、敵の彈藥に當つたと見え一度に炸裂したたつた一回で敵の砲兵は全滅した

神崎隊長 あれは大成功だつたナア、だがわれ〳〵より地上勤務員の苦勞の方がずつと多い、われ〳〵は一日四、五回も飛べば夕方になると休めるが整備員の仕事はそれからだ、敵機が何時來るか判らぬから燈を洩らすことが出來ぬ不自由な中で夜の十二時頃まで機體の點檢だ、全く涙の出るやうな努力をしてくれる、整備班の戸野少尉等は機の歸りが遲れると雨の中にいつまでも立つて空を見ながら待つてゐる、もしも機體の不備から故障があつては濟まぬと部隊機全部が着陸するとはじめてホッとするさうだしかしこの努力は世間的には認められてゐない

是久康彦中尉 僕は劉行鎭で敵彈を四發受けた、高度を八百か一千にとらうとしてゐると忽ち來た一發は操縱の阿部伍長（少年航空兵）の腰の下まで來たが腰掛で止まつたまた一發は計器板に當つたが一寸も故障が起らなかつた

神崎隊長 何といつても一番射れたのは藤森大尉機だ左翼に洗面器位の穴があつたからナア

藤森大尉 あれは古い話ですよ、それを持出すなら隊長殿だつて二十六發も喰つたことがあるぢやありませんか

空の勇士達の間に笑聲が溢れる、隊長も部下も渾然一體、和氣に滿ちた生活ぶりだ、折柄一寸雲の切れ目を窓越しに見上げた神崎隊長は

今日は明治節のお祝にこれから一發お見舞ひに出掛けるかな

と晴れ〳〵とした眉をあげるのだつた

治外法權撤廢に貢獻した人々の像（三）

谷正之氏

現壌國駐劄帝國公使谷正之氏は、滿洲國の法權撤廢に關しては忘れることの出來ない功勞者の一人である

昭和八年八月外務省亞細亞局長より駐滿大使館參事官に轉任、着任早々現地各機關を說得して法權撤廢に關する現地の輿論を指導し、更に再三中央に歸り日本政府を動かす上に多大の功績があつた、また法權撤廢の前衞とも言ふべき在滿機構改革問題紛糾に際しては氏の善處により問題の解決を見たるもの少なくなかつた、法權問題の歸趨未だ定まらざる時代に氏の如き圓轉滑達、才幹非凡、然も時の外務省首腦部を動かす上に大いなる力を有する氏を大使館の首腦者として迎へたことは法權撤廢の基礎を築き上げる上に大使館のみならず滿洲國にとりても誠に幸な事であり、氏の功績は永遠に記錄さるべきである

守屋和郎氏

守屋和郎氏は昭和九年四月福州總領事より大使館一等書記官として着任後谷參事官の跡を襲つて參事官に累進した

氏はさきに支那における治外法權撤廢問題の衝に當り、この問題に關しては外務省有數の精通者であつた、滿洲國における法權問題に關する、大使館事務を主管するために特に選任せられたとのことである、着任後法務課長として法權問題の研究及び準備に專念し、その該博なる專門的知識をもつて或は講演に論文により關係官民を啓蒙指導し、或は滿洲國法令制度の整備に助言を與ふる等法權撤廢事業の豫備的段階において盡せる功績は大なるものがある

なほ第一次法權撤廢條約は同氏の在任中に締結せられた、氏は昨年十一月離滿、現在無任所參事官として北支に活躍中とのことである

澤田廉三氏

昭和十一年十一月ニューヨーク總領事より現在の地位を自ら希望して就任した澤田參事官は着任早々滿洲國政治、經濟各般の事項に多大の關心を示し在任未だ一年に充たざるに滿洲國重要問題の處理に關し日本政府の協力を必要とするが如き場合、親しく外務省その他政府方面の說得乃至鞭撻に盡した功は大なるものがある、殊に領事裁判權撤廢の時期が日本中において問題化した際親しく政府各方面に對し繰上實施の必要なる所以を說得し、遂に今日の喜びの日を迎へるを得たが、十二月一日實施となりたる裏面には同氏の隱れたる功績はまた沒すべからざるものがある

山本熊一氏

法權撤廢の功勞者として絕對に落してならない人として山本一等書記官がある

氏は昭和九年六月駐英大使館より着任以來現在に至るまで一意專心、文字通り法權撤廢のため働いて來た人である

氏は長く外務省通商局に勤務し、通商問題、條約關係については、外務省內有數の權威者であるばかりでなく、支那における法權問題研究の大家として知られてゐる、既に着任早々滿洲國における法權撤廢に關する條約案を作成し、關係方面に頒布した如き本問題に對する造詣の一端を知ることが出來る

氏は法權撤廢は所謂第二の滿洲建國なりとの認識のもとにこれが實現のため、一身の榮達と利害を顧みず、積極的に自己の全生命を打込んだと思はれるほどの熱情をもつて一路これが達成に邁進した、過去三ケ年にわたる現地における各種委員會、その他の會議において同氏と席を同じうした者の等しく認めるところである

治廢問題の認識が一般に充分でなかつた時代在滿居留民會又は商工會議所等の關係者に對し彼等の希望する所を、または不滿を默々と聞き、探るべき理ある場合は關係機關に對し斷乎としてこれが實施を迫り、又現地と中央との意見對立せる場合、辭表を懷にして現地の主張を中心に進言しその意ある所を示した等全く信念と熱情なくしては出來ないことである、氏の功績は治廢問題に關係した人々の一致して認めるところで「着任當時蓬々せる頭がやゝ薄くなつた」との噂さへ聞くがまた理のあるところである（未完）

基本になつた日獨防共協定
―參照條約文―

今次の日獨伊三國防共協定の基本となつた昨年十一月廿五日武者小路、リッベントロップ間に調印を了せる日獨防共協定の內容左の通り

△共產インターナショナルに對する協定

大日本帝國政府およびドイツ政府は共產インターナショナル（所謂コミンテルン）の目的がその執り得るあらゆる手段による現存國家の破壞および暴壓にあることを認め、共產インターナショナルの諸國の國內關係に對する干涉を看過することは、その國內の安寧および社會の福祉を危殆ならしむるのみならず、世界平和全般を脅すものなることを確信し、共產主義的破壞に對する防衞のため協力せんことを欲し左の通り協定す

第一條　締約國は共產インターナショナルの活動につき相互に通報し必要なる防衞措置につき協議し、且つ緊密なる協力により右の措置を達成することを約す

第二條　締約國は共產インターナショナルの破壞工作によりて國內の安寧を脅さるゝ第三國に對し本協定の趣旨による防衞措置を執り、または本協定に參加せんことを共同に勸誘すべし

第三條　本協定は日本語およびドイツ語の本文をもつて正文とす、本協定は署名の日より實施せらるべく、且つ五ケ年間效力を有す締約國は右期間滿了前適當の時期において爾後における兩國協力の態樣につき諒解を遂ぐべし

右證據として下名は各本國政府より正當の委任を受け本協定に署名調印せり

昭和十一年十一月二十五日即ち一九三六年十一月二十五日ベルリンにおいて本書二通を作成す

大日本帝國特命全權大使　子爵　武者小路公共
獨逸國特命全權大使　ヨアヒム・フォン・リッベントロップ

△共產インターナショナルに對する協定の附屬議定書

本日共產インターナショナルに對する協定に署名するに當り下名の全權委員は左の通り協定せり

イ、兩締約國の當該官憲は共產インターナショナルの活動に關する情報の交換ならびに共產インターナショナルに對する啓發および防衞の措置につき緊密に協力すべし

ロ、兩締約國の當該官憲は國內または國外において直接または間接に共產インターナショナルの勤務に服し、またはその破壞工作を助長するものに對し現行法の範圍內において嚴格なる措置をとるべし

ハ、前記（イ）に定められたる兩締約國の當該官憲の協力を容易ならしめるため常設委員會設置せらるべし、共產インターナショナルの破壞工作防遏のため必要なる爾餘の防衞措置は右委員會において考究且つ協議せらるべし

昭和十一年十一月廿五日即ち一九三六年十一月廿五日ベルリンにおいて

大日本帝國特命全權大使　子爵　武者小路公共
獨逸國特命全權大使　ヨアヒム・フォン・リッベントロップ

機械化兵器協會を創立

【東京國通】機械化部隊の充實に邁進してゐる陸軍では六日軍令をもつて陸軍大學校令を改正して陸軍大學校內に航空兵科の最高敎育部門を新設したことは既報の如くであるが、これに呼應して今回國軍機械化部隊擴充の一大推進力たらんがため軍民協力の下に機械化兵器協會を創立し十日午後交詢社で創立委員會を開催する運びになつた、委員長は鈴木孝雄大將、委員土岐章、磯村豐太郎、比佐陸軍參與官等ほか十數名である、同協會は近代戰に必要なる新兵器殊に機械化兵器の普及を圖り學校敎育、社會敎育を通じ現代戰に必須なる精神的、科學的ならびに技術的素養の向上を促進し國防上必要なる軍需工業の飛躍的發展に協力し、もつてその目的達成を期してゐる

數千名のハイチ人 ドミニカ土民に虐殺さる

【ニューヨーク六日發國通】西インド諸島ドミニカ共和國西北隅ダハホン附近において十月初旬婦女子を含む數千名のハイチ勞働者農民がドミニカ土民のため虐殺され、死體は鱶の群がる海中に投ぜられたといふ前代未聞の大慘事がユー・ピー通信社によつて報ぜられ全米に一大センセイションを捲起してゐる、虐殺の原因は最近ハイチが人口過剩となつた結果ハイチの農民達が續々ドミニカ領に入込んだためドミニカ土民が生活權の脅威であると憤慨、この鬱憤が爆發したゝめといはれるがこれがためハイチとドミニカの關係は重大危機に陷つてゐる

滿鐵のクレーン沈沒

滿鐵龍山丸（四百十六噸）は四日午後二時五十分クレーンを牽引、壺蘆島を出帆し七日早朝旅順に入港したが、六日午後小龍山西北を風浪と闘ひ難航のところ同船牽引のクレーンが沈沒しクレーン乘組員壺蘆島建設事務所の蒲原、初山兩氏ほか滿人七名全部行方不明となつた旨報告あり旅順署では滿鐵と共に救助につき協議し、滿鐵では七日午後四時小蒸汽船昭和丸奉天丸二隻を現場に急航、遭難者の救助に當ることゝなつたが、その生死は氣遣はれてゐる

水產製品檢查陣を擴張

【京城支局】半島水產製品の向上並に販路擴張の目的で水產製品檢查事務を稅關より分離し本春以來水產製品檢查所を獨立新設して本部を京城に置き支所を仁川、釜山、元山、清津の四ケ所に設け更に各支所に出張所を設置

△仁川支所では鎭南浦、群山、新湖島
△釜山支所では麗水、莞島、木浦、濟州島、甘浦、浦項、統營、丑山、鬱陵島
△元山支所では長箭、注文津、三陟、遮湖、新浦
△清津支所では雄基、漁大津、城津、西水羅

の鮮內二十三ヶ所を設け水產製品の檢查を施行しつゝあり元山支所管內は非常に廣範圍で且つ交通不便の上に北鮮時代の波に乘つて水產製品は增加の一途を辿るのみなるため各關係者より庫底及び東草の兩地に檢查出張所新設の要望あり總督府でも其の必要を認めて今回前記兩地に出張所を新設することに決定、半島の水產檢查陣は益々强化されて來た

鮮內興行物成績

【京城支局】總督府警務局調查による昨十一年度鮮內各種興行物入場延人員は千三百四十余萬人であつて前年度より五十八萬余人を激增し入場料金亦三百六十六萬圓でこれまた前年度より四十七萬余圓を增加し入場料は平均二十七錢に當つて居るが入場者の最も多い興行物は何んと云つても活動寫眞であつて八百八十九萬人この入場料二百二十五萬圓といふ全收入の七割を占め次は演劇である

商議所議員會

新京商工會議所では議員會を八日午後三時より公會堂會議室にて開き昭和十年度決算報告及び十二年四月より十月までの事務報告を行つた

目出度い七五三 子供だけの日
樂しき當日のお化粧と着付

十一月の十五日に、三才と五才の男兒と三才、七才の女兒の成長を祝ふ意味で産土神に詣でるしきたりは、遠く鎌倉時代に淵源してゐるといはれる程古いものだが、今は昔程の嚴格な古式には則らないとはいへ子供はつけたりで、却て附添ひのお母さんが美々しく着飾るやうな本末顛倒の事がないやうにしませう。

お母様の着付

先づお母様の着付とお化粧から申上げますと、七五三は云ふ迄もなくお子様のお祝なので第一公式の白襟黒紋付では餘り仰々し過ぎます。さればと云つて縞や絣では不斷着のやうでいけませんから

訪問着程度の

裾模樣か色無地のお召物が適當と思ひます。從つて襟も縫のあるのを御用ひになつて差支なく、帶もキラ／＼しい丸帶でなく稍くだけた袋帶程度がよろしい。かうした日本服には、昨風の洗禮を受けたどんなお若いお母樣方でも、新し味の中にどこか古典的な味を殘したお化粧をなさらないとつらないものです。クリームと粉白粉仕上げの、顔だけのお化粧は感心しません。中年の美しさは襟足の美につきるといつてもよい位で、特に襟の美容に關心を持つて頂きたいと思ひます。そこでお顔は普通に各自お仕上げになるとして

襟には水白粉

を必ずおつけになる樣に。不斷襟をかまはない方に十五日迄に間に合はす應急の處置を申上げると、練の襟白粉を寢る前につける事を續けるか、でなければコールドクリームの美容マッサージをして後化粧水白粉をつけるかすればほゞ目的は達せられます。殊に鳥肌の方には後の方法をおすゝめします。

子供の化粧法

さてお子さんのお化粧はどうすればよいかと云ひますと、元來三つ、五つ、七つ等の小さい方のおつくりは

大人じみても

いけませんし、至極しづらいものですが、次の方法でやれば簡單に可愛らしく仕上ります。先づコールドクリームを極少量目の周りと額だけ除けて頰と襟によくぬつたら、ガーゼと脱脂綿で拭き取り熱い蒸しタオルでサッとふき、水白粉の濃いのと襟白粉を混ぜて顔へつけます。新しい水白粉ならば、上の方を別の器に取り移し、下の

濃いところを

どつて二度、三度とつけて（この方法は大人の場合にもよく薄い分はあとで足して使ふ）牡丹刷毛ではきその後普通の刷毛でのばします。それから頰紅、バニシングクリームをつけ、粉白粉をはたき、眉墨口紅を嫌味なくぬり、尚耳たぼにも白粉をつけ紅をうまくさして置きます。襟は三才位のかり上げの時はしません。着物を着せ終つたら

手にもうすく

刷毛で白粉をつけ、爪にはエナメルか紅をさします。子供の化粧の秘訣として目の周りに大人が墨を使ふ代りに、紅をさし、目尻に一寸紅を引きますと、パッチリとすゞしげに見えます。着物はあつさりと着て帶は脊中にぴつたりと付くやう、餘り細工しすぎて脊中に口が開くのは勞して効なしです。子供の事ですから當人が窮屈を感じないやう、帶にしめられずしかも

着くづれない

やうに、結び方も大きすぎるのはをかしいものです。一體帶は帶そのものが美しいのですからその上技巧をこらして飾り立てるのは感心しません。昔ながら矢の字、猫じやしふくらすゞめ等殉方に手を出すやうなしめ方が賑やかで可愛らしいと思ひます。」

季節料理 お粥にむくお菜

風邪をめしたりお腹をいためたりまたはながい病氣のあとなどお粥のお菜にはなか／＼困るものでございます。けふはそのやうなときに向くお菜のこしらへ方を申しあげませう。一寸目先も變つてゐて喜ばれます。

一、お椀　五目葛汁

【材料】（一人前）

材料	分量	瓦
人參	三匁	一〇瓦
いんげん	三匁	一〇瓦
鳥さし身	三匁	一〇瓦
キャベツ	三匁	一〇瓦
玉葱	三匁	一〇瓦
葛	小匙一杯	五瓦
煮出汁、鹽、醬油		

以上で蛋白質三・二〇、カロリー四五〇です。

材料のせん切を煮出汁に入れ終りに葛をひく。

二、お皿餅　木の葉蒸し

【材料】（一人前）

材料	分量	瓦
餅	小一切	五〇瓦
豆腐	五分の二丁	七〇瓦
玉葱	三匁	一〇瓦
玉子	三分の一ケ	一五瓦
人參	三匁	一〇瓦
グリンピース	少々	

以上で蛋白質一五・四瓦、カロリー一六六です。

魚の身と豆腐をすり野菜せん切の茹でたもの玉子を入れて型にまとめて蒸しかけづゆをこしらへてかける。

三、小丼　大根鯛味噌かけ

【材料】（一人前）

材料	分量	瓦
大根	一切	七〇瓦
鯛	三匁	一〇瓦
味噌	五匁	二〇瓦
煮切みりん、だし、砂糖、鹽、調味料		

以上で蛋白質五瓦、カロリー一九〇でございます。

大根はうす味に煮、別に鯛味噌をこしらへてかける。

明朗且つ端的に！
子供の躾は叱り方一ッ
母は子を如何に善導すべきか

子供に對しては先づその子供の性質を正しく觀察する必要があります。氣の小さい子供、呑氣な子供、神經質な子供、眞面目に何んでもまともに受ける子供、何んでも茶化すやうな子供、家庭で自分の子供を叱る時に

衝動的に

叱るやうな場合が多く惡いことにはかうした場合に女の人は色々な不平のはけ道がない爲に子供にあたるやうな叱り方をしますが、このやうな叱り方は有害であるから愼んで頂きたい。叱る時には嚴肅な氣持で叱ることが必要ですが、時としては子供の氣持を暗くさせないために、輕く

諧謔を交

へて叱るやうな試みも望ましいと思ひます。これは或る嚴格な奧樣の例ですが、幼稚園に通ふ子供さんが、何んの氣なしに小さなチョークをポケットに入れて行つたのを家庭で發見し、盜癖が出來たら大變とばかりに驚いて學校に謝罪に來たが、かうした態度は正しいのには相違ないですけれど、子供が物を欲する氣持は、大人が推察するやうな不純な氣持での行爲と限らないから、要は子供の過失についてはそれを

繰返させ

ないやうにすればよく自然に善導するやうにして欲しいです。若いお母樣達の中には叱ることよりも理窟で言つてやる方が合理的だと考へる方がありますが、それは効果はあまり無いやうです。子供は單純で所謂子供つぽい野蠻なところがあるから、くど／＼した叱り方よりも端的に率直な叱り方が良いやうです。そして叱る時は

熱誠こめ

て眞心で叱つて下さい。子供は感受性が強く大人よりも寧ろ鋭敏に心の動きを感受するから、他人の前でお義理に叱るといふやうな叱り方は禁物です。叱つてよい場合は例へば

▼第一には行つては惡いと禁ぜられてゐることを惡い判つてをりながらやつた場合

▼第二には自分の行爲は別に惡いことではないとしても他人に迷惑を及ぼす場合

▼第三には人の尻馬に乘つて過誤を侵す場合等です。幼い時から

他の人が

したから私もしたといふやうな不見識な態度を無くさせ、子供に自分で自分を尊重して行けるやうな精神をうち込むことが母親としては大切な務めだと思ひます。それには普段はつまらないことをくど／＼叱らないやうにして効果のある叱り方をするやうにして下さい。

世は毒藥時代
性質を知ることは ─近代生活の常識─

（化學） 藥品のうち有機方面だけで四十萬乃至五十萬の種類があつて見方によればそれがすべて毒藥と考へる事も出來るが、いはゆる毒藥とされてゐるものはずつと少い。この毒藥を大きく分けると、植物毒、動物毒、無機毒の三つになるが、人を對象として見た場合、これらの毒藥は神經筋肉毒、新陳代謝毒、血液毒の三つになる。しかし本當の區分はなか／＼面倒です。例へば問題の

（青酸） ですが、これは植物性毒にも入るし、廣くいへば動物性毒にもなり同時にまた人を目標にした場合は神經筋肉毒であり、そして血液毒にもなる。しかし大體餘計身體に働くものを代表とすれば青酸は神經筋肉毒と類別するといつたわけです。人間の一番困るのは呼吸器を經過してくる毒です。食べものと一しよにくるものは食べなければ

（中毒） がないが、呼吸はさうは行かないので一番こはい。便所にある硫化水素などがさうで、かういふものには特有な臭ひがあるたとへば胃酸など非常にくさい臭ひがしまた硫化水素にもいやなにほひがあります。しかし一般炭酸に至つてはほとんどにほひがない。そしてこれは火のあるところでは必ず出來ます。ガスからは一酸化炭素が生じますが、あのガスのにほひはこのにほひではなく、いろ／＼なタールのにほひです。以上のものはみな血液中の酸素をとる能力を全くなくしてしまひます。つぎに

（一般） のアルカロイドとか動物性の毒、たとへばフグの毒（テトロドトキシン）などは、神經系統、筋肉系統に働き、これにコカイン、モルヒネ、青酸、ストリキニーネ、ハラリン屬（南米人の矢へ塗るもの）キノコ類にあるムスカリン、アトロピンなども神經筋肉系統のものですが、こゝに忘れてならぬものは、キニーネやアンチピリンもこれに屬することです。クロロホルム、アルコールもこの中に入ります。

本紙特約連載漫畫 ガラムシャおピー　倉金良行

オウドウモ ランボウ スギテ ウチノ オテツダイニヤ ムカナイシ ウチモ ビンボウ ダカラ

ヒトツ ミヤコエ イッテ ウント エラク シュッセシテ リョウシンヲ ヨロコバセ タイナア

オンヤ タイヘン ゴリッパニ

ミヤコヘ イッテ ヒト モウケシテ キマシタヨ

キレイナ モノ ジョ ミヤコ ノ ツテ ラッ タノ

ミヤコヘ ユキタイ ミヤコヘ ユキタイ

ラヂオ　けふの番組

九日（火曜日）　新京放送局　M・T・C・Y

朝

六、五五　ニュース　東京

七、〇〇　ラヂオ體操・入港船のお知らせ（大連）

七、二〇　中等滿洲語講座　講師　秋父固太郎

七、四五　朝の音樂（大連）

八、二〇　氣象通報

八、四五　建國體操

九、〇五　經濟市況（東京）

九、一〇　經濟市況（東京）

一〇、〇〇　家庭講座（大連）

一〇、二五　料理獻立（奉天）

一〇、三五　家庭メモ

一〇、四〇　經濟市況　大連、（新京）

一一、三五　經濟市況（大連）

一一、四〇　經濟市況　東京

一一、五九　時報（東京）

晝

〇、〇一　晝の演藝（レコード）

〇、三〇　ニュース（東京、新京）

一、〇〇　經濟市況（大連、新京）

三、〇〇　經濟市況（大連　新京）

三、四〇　經濟市況（東京）

四、〇〇　ニュース（東京）

四、〇〇　ニュース・氣象通報（新京）

四、四〇　經濟市況（大連　新京）

夜

五、二〇　ニュース・演藝（（語）

六、〇〇　子供の時間（東京）うたものがたり　川中島　深澤一郎

六、二〇　コドモの新聞（東京）

六、二五　講演（東京）帝室博物館の復興について　關屋五十二　荻野仲三郎

七、〇〇　ニュース（東京）

七、三〇　ニュース・告知事項・番組豫告（新京）　講演　石家莊附近に於ける兒玉部隊の行動（天津より）　兒玉部隊長

八、〇〇　浪花節（東京）山鹿護送　雲芳雄

八、三五　新内（東京）大江山酒顛童子　頼光山入の段　淨瑠璃　富士松東㒒　同　富士松米太夫　同　富士松紫朝　三味線　富士松峰太夫　同　富士元鶴三郎

九、〇〇　大岡政談　連續講談（東京）丹波屋騷動（終席）　神田伯龍

九、二九　時報、ニュース　ニュース解說（東京）　ニュース・氣象通報・告知事項・番組豫告（新京）

一〇、二〇　ニュース再放送

アナウンサー　宮岡、野村

講談倶樂部（十二月號）

◇昭和十二年も終りを告げる十二月號、講談倶樂部はこゝ掉尾の活躍を示して、頗る賑やかな內容を見せてゐる。◇讀切ものでは「壯烈轟く肉彈」池田宣政「壯行の曲」安倍季雄「大高源吾」村上浪六「雪山と麗澤」大田黒克彥「物語」角田喜久雄「桂よし子蠅怪」丸尾長顯「嚴秘書類」木々高太郎……など。◇其中でも「蠅怪」「嚴秘書類」を得たのは、本誌のお手柄であらう。時局柄「壯行の曲」なども、特殊の感激をもつて讀ませるが、作者の熱意も平常とは異つてゐるのが、何と云つても大きな力となつてゐる。◇北支上海「從軍記者座談會」は、この一冊中のニュース頁である。映畫館でも、ニュース映畫が非常に幅を利かせる此頃では、この頁はどうしても見逃せない重要讀物と云へよう。◇例によつて、新年號の豫告もあるが、時局を反映して、雜誌がどうした方向に進むか平常でも特色のハッキリする新年號に、今度の新年號こそ見ものである。本誌がどんな新手を打つか、樂しんで待ちたいものである。

キング（十二月號）

◇キング十二月號は、六三四頁といふ尨大なる體裁、「國民精神總動員」の大特輯頁と別に「上海南京地方明細地圖」を添付してゐる。十二年度掉尾の活動といふべく堂々たる威容である。◇就中、「國民精神總動員」大特輯に至つては、八十餘頁の中に、現內閣大臣諸公を動員して大獅子吼せしめ、各權威者の時局解說を徵し、更に各名士の熱言を集めてゐるのである。蓋し、時宜に適した讀物といつて、これ以上のものはなからう。◇これと、今一つ特輯「事變大特輯」の二つを並べただけでもキングは、大に國民雜誌の威容を具へたりといふべきであらう。記事の中にも、「飛行機買入れ國際大秘話」大江專一「法廷奇譚犯罪秘話集」などの興味ものもあり外に「軍事小說傑作集」「短篇小說傑作選」の特輯。

富士（十二月號）

◇富士が十二月號に、一方に「軍事讀物大特輯」を試み一方には十二月號といふので「義士讀物傑作集」をものしたのは、內容から見て、仲々よい思ひつきだと思はせる。◇「支那通、支那を語る座談會」が、戰爭一方に走らなかつたのも成功だつた。南北支那の相違や、支那の稅金などにも、一通り及んでゐるのが支那を理解するものには非常に好都合だ。◇義士讀物は、長谷川伸氏の「村松三太夫七ッ旅」浪六氏の「神崎與五郎」田邊南龍の「烈女お絹の方」の三篇、月並みの義士傳でないといふところに魅力がある。

學藝

廣告文案論（五）

滿洲映畫協會宣傳課 山下明

市場の研究並びに商品の研究が終つたならば最後に人性研究である。

廣告の對象が常に個人であり又社會民衆であることは明らかで、隨つて廣告の科學的研究の基礎は人間の心理學でなければならぬことは當然である。

廣告に於ける訴求（APPEAL）とは自己が達成せんとする目的事柄について、相手にその注意を惹起せしめ以て自己の欲求通りに相手を行動せしめんとして迫る神經を言ふのであつて、訴求は結果的に具體的現象として相互に快く欲求を滿たし、その爲に何等かの形に於て共に利益を享受し得る反應を得られるものでなければならぬ。從つて訴求の巧拙は直ちに廣告の効果に對して大なる影響を及ぼすものであつて、廣告文案作成に際し、訴求の問題はその根本的基礎であり、從つて最も深き心理學的研究を必要とするものである。

偖、本能とは一定の刺戟に對して行ふ遺傳的反應であり換言すれば總ての人が有する原始的に共通なる心理狀態である。從つて廣告が人を對象とする以上、その訴求の內容は主として此の本能の滿足されるべきものに依つて構成さるべく、人々の本能に巧みに合致することに依つて廣告の眞價は遺憾なく發揮される。故に良き廣告文案を作らんとする者は人間の本能に對する深き理解と認識とその反應並應用の方法を識らなければならぬ。

今、人間の本能をその發生の理由に基いて分類すると次の四つとすることが出來る。

（一）自己保存の本能
（二）種族保存の本能
（三）社會的本能
（四）順應本能

第一に自己保存の本能はその勢に於ても數に於ても最も大且つ多であつて、この種の本能に基礎を置く廣告の訴求方法は一般に最も多く利用せられるものである。而してこの本能は最も原始的であつて多くの場合は敎養に依つて道德觀念、訓練等の爲に抑壓せられてゐるけれども、それは平穩な常時に於ける表面的狀態であつて、內面は、又は一朝事ある時は最も强く躍動するものであり、從つてその廣告への應用範圍は極めて廣汎である。食欲、自我、自負、競爭、爭鬪、恐怖、寬容等の本能は之に屬するものであるが、今その中食欲本能に關して具體的な說明を試みやう。

食欲本能は自己を保存して個體の生命を保存、保全する人間の最大根本的本能であるからその應用範圍も亦極めて廣汎に亘つてゐるが、この本能に向つて訴求すべき商品が主として飲食料品であることは言ふまでもない。

米國の著名な廣告硏究者ホーリングウォース博士の調査に依ると、食料品の訴求ポイントの順序は大約次の如くである。

イ淸潔、ロ醫家の推薦、ハ榮養的價値、ニ美味、ホ食品に適す、ヘ健康になる、ト精力を增す、チ店舖の信用（以下略）

試みに文案例を擧ぐれば「×××印果實罐詰　美味毎日、健康一生、自然の美味と新鮮な風味、夏の保健にぜひ一罐の御常備を…」

民衆娯樂親話會（六）

民族共通の娯樂

佐藤　もう一つ、お願ひしたいことは各民族共通のものをつくる、例へば共通點のある朝鮮のものを取入れるなりするヒントを探し出したらいゝんぢやないでせうか、もとの文敎部で作つた國民舞踊を子供を集めて大同劇園の人に振付けをしてもらつてやりましたが、さういふ風なことをやつたら面白いんぢやないでせうか、張燕卿さんにこの前コキ下されましたが

板垣　吾々の意圖が至らぬところはありますが、一つのテーマに組立て（五族が）かりに國民歌謠を取上げたが、その中には滿洲の劇の動き、日本の踊り、ロシヤの舞踊等も入れてあるので夫々無理がいつてゐます、複合國家の民衆娯樂はむづかしい、一度詳細に調べどうしても合はないものと合ふものを調べ、鑑賞家、實際家をよんで聞く機關をもつことをこの今日の話の結末として貰ひたい

長谷川　私は國民舞踊の提唱は「滿洲行政」にも書きましたが是非必要です、五族は違つてゐて別々なものを作らなくちやならん狀態にあるので先づ以て國民舞踊を提唱しました、ロシヤはあれだけの國家が出來たとき、先づ舞踊でお互の共通點をとつていつて今の舞踊國となりました、お互が舞踊で意思を疎通するため先づ國民舞踊がいゝと思ひます、國都建設記念日のときも國都音頭を希望したが出來ませんでした、觀光協會にも頼みましたが歌詞の募集にもゆかなかつた、それで放送局だけでやることにしましたが事變でそれはやめました、協和會でやつてゐるものを國民舞踊として皆で樂しめるものにしてやつて頂きたいと思ひます

板垣　さうほめられちやどうも……併し言葉もいらないし舞踊が一番いゝ

杉村　そこで中央でそれをやるやうに經費を出させなくちや

長谷川　土着の心、鄕土愛を養つてもらふやうに娯樂を作らなくちやなりません、娯樂があれば土着心が起ります、それが國家愛にも世界愛にもなります、その糧を民衆娯樂を早く出來るやうにして貰ひたい

榮厚　今度文藝親話會を催し今日で五回目にあたり皆樣の重要時間をおさき下さつて恐縮します、五日間の親話會に重要な問題が順序よく運びまして、またこれを實施するのによい議論が多かつたと思ひます、採錄したことは大要でありますから將來詳細に調べ政府とも相談し、これから研究をすすめて實現したいと思ひます、これを空言に終らせない樣にと考へてゐます、協和會、民生部は勿論放送局映畫協會等各方面に關連し各方面と連絡をとり一つ一つの事項に就ては皆樣の御意向をお聞きしたい、五日間御努力と御勞心を下さいましたことを政府方面に代りまして私からお禮申上げます。（完）

滿洲風景

木下笑風

葛葉下に垂れるやうになり葉鷄頭色あせて雨
妻なき我が家
花瓶が並んでる計りで花も淋しく秋の雨强く
やたらにはびこつた野菊陽に向き小さき蕾をそろへ
花壇荒々て萩亂れ咲き葉鷄頭立ち
朝顏へたくになり雨に打たれコスモス塀にもたれ未花
硝子窓から遙かの梢枝葉々打ち合ひ雨そそぎ
馬車の走る音折々きこゆ朝の床の放心
　新京ハルビン間
野菊薄紫の澤邊水鳥は首をもたげ叢に首を入れ
　牡丹江樺林滿洲パルプ工場
河端草中で砂利を掘る犬鬱にとぶとんぼ
社宅廻りの秋草砂利を踏み溝を渡り凹凸を踏み
　○
落葉立つ煙松の色おごり枝を擴げ
秋の雨强く道の兩側を流れ小學生のゴム長靴

秋の寬城子とキユカンバー（三）

木曾川徹

寬城子に來たからには是非一度ロシヤ人の家を覗いて見たいと思つてゐたが、別に之と云つて知り合ひもないのだから、望みも叶ひさうにないので、せめてロシヤ人の住んで居る附近でもと思つて歩いてゐると喫茶店の前を通りかかつた。早速中に入つて見た。貧しければ貧しいなりに、こじんまりと清潔に整頓されてゐるのがロシヤ人の住居である。（私はロシヤ人以外の事は知らない）窓一杯に入つて來る陽を浴びる樣に大きな植木が青さにはちきれさうに育つて居る。今日までに幾度か植木を買つて見たがこんなに陸と育つたためしがない。一ケ月もすぎると玄關の隅に埃をかぶせておくのが私の通例であるが、かうしてこゝの植木を見るにつけ、植木を買つて見たい欲望がむらむらと湧いて來た。哈爾濱でもさうであつたが、全くロシヤ人は植木をよく育て、そして愛する國民らしい。

紅茶を待つ間部屋の中をあちらこちらと見て歩いた。這入つて來た時に突き當りの隅でカイザー髭の老人が、ひどく猫背になつて何か食べて居たテーブルの上には黑つぽいパンの切れと、忘れることの出來ないキユカンバーがうまさうに三ツ四ツ皿にあつた。哈爾濱の私の一年はウオッカーとこのキユカンバーで暮れたと云つてもいゝ程である。それこそ身體中がすつぱくなる程キユカンバーをたべた。

新京に來てからはつい食ふ機會もなく、ほからずも今日その相好に接したわけである。奥さんの話ではこの店も赤字續きで什器なども商務會の抵當に入つて居る有樣だと云ふことである。ヨチヨチと紅茶を運んで呉れると、老人は又隅のテーブルに歸つて、今度は食ふのもやめて一點をじつと見つめてゐた。何を考へて居るのか。何も考へて居ないのかも知れない。時々ブレーキのあまりよくきかない手で憮然と髭をひつぱつたりしてゐた。

繰返し繰返し出されたらしい紅茶は、日本酒程度の色合ひで、味もそつけもなかつたが、却つてさばさばしておいしくかわいたのどをうるほしてくれた。

×　×

一巡して歸つて來ると奥さんのお母さんがお晝を準備して待つて居てくだすつた。見るとキユカンバーがお膳にのつてゐる。奥さんのついで呉れた酒はまづおいてキユカンバーに箸をつけてかぶりついた。奥さんが側から、自分の手製であることをつけ加へて呉れたが、そんなことはどうでもよい。遂に最初の一鉢をたひらげて二鉢目を又たひらげた頃にはやつとすつぱ味が身體に氣持よくしみこんで來た。さつきしめ殺す音のした鷄の料理も田舍だから何もないと謙遜されるお母さんの味加減においしくいただけて滿腹すると、全く寬城子はいゝところだと思つた。

七面倒臭い世の中の事などには觸れることなく、奥さん自慢の猛犬秋田犬のことなど凡そ氣の輕い雜談に、印刷機の音に忙しい奥さんの一日をつぶしてしまつた。濟ないとも思つてゐるが、有難いとも思つてゐる。

別れに望んで奥さんが又今度の休みにと云つて呉れたが恐らく駄目だらうし、又いつこられることかわからない。

落ちかけた秋の陽を背に、白つぽい、そして樺つぽい寬城子に別れる頃には又明日からの生活を考へ出してゐた。（一一、一）

バクゲキ書

「千代子」

町原幸二の『旅行滿洲』十一月號に於ける——

若いこの作家が、これは又なんといふ長田幹彥的小說を書いたものか。わづかに筆づかひのみづみづしさが、やはり若い作家たることを思はせるのみ。

東京から大連へ來た藝者、良かれ惡かれ思つたほどのこともなく、或る靑年に親しみを覺えたり、祭の日にその靑年が子供を抱いてゐるのを見たりするそんな話。

『旅行滿洲』の編輯者もこの小說には困りはしなかつたか。尤も、內地あたりからの旅行者に、大連にもこんな世界があり、こんな女がゐるといふことを敎へるためには役立たうから、全然無意義ぢやなかつたらう。それにしても純文學誌「作文」同人の名譽になる事ぢやない（忙人）

書架

△農業と機械（十一月上旬號）宮田久次郎「鐵路自警村と農機具に就て」「北滿に於ける最近の農機具需要」「トラクターの前途」等を載せてゐる（東京市本所區石原町一ノ二七、農業と機械社、二十錢）

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

眼の過勞は
視力低下の
最大原因だ!

新京市區劃制度に根本的改革施す

雜然たる町內會、保甲を統一 近代的大都市の出現

國都の面目一新

特別市公署では滿鐵附屬地移讓を目睫の間に控へ、行政、稅制、補助機關其の他萬般の準備を進めてゐるが從來の町內會、保甲制度に依る市の雜然たる區劃を近代的、合理的な區劃に改變すべく計畫を樹て市公署に於て成案を急いでゐるが大體廿日頃迄には區名も決定し發表の段取りとならう、新區劃は東京と同樣〇〇區と呼稱し大滿洲帝國の國都に相應しい面貌を備へしめることとなつた、大體特別市（移讓さるべき附屬地をも含む）を十八區とし十二區を市內地、六區を農村地とすることゝなつてゐるが、區劃決定に際しては大體左の要領に基くものである

一、町內會、從來の保甲區劃に基礎を置く
一、警察の業務分擔區域を考慮する
一、屬地的に區劃する

尙は市の補助機關としては區長の下に全市に五十の町會を置くこととなつてゐる

移讓準備は完了 世帶大膨脹の市公署

【特別市公署では八日午後懇談の形式で左の如き發表をなした】特別市公署は十二月一日をもつて滿鐵附屬地の移讓を接收するとともに文字通り國都の大市公署として華々しくスタートすることとなる譯であるが市公署として滿鐵から移讓を受けるものは滿鐵支社地方課關係では庶務建築係社員諸施設、土地（滿洲不動產會社）學校を除く全部、施設としては（消防隊は首都警察廳へ）衞生隊、消毒所、健康相談所、公學校、婦人醫院共立醫院、職業紹介所、保健所、西公園、隔離所、市外給水、橋梁、公共井戶、撒水施設、報時施設、屎尿處理研究所、護岸、諸運動場（西公園運動場は未決定）等滿鐵施設の殆んど全部で滿鐵醫院、給水塔、水源井は移讓されぬこととなつた、滿鐵がこれらの施設に投じた費用は約七百萬圓と稱せられてゐる、人容も當然市公署側が引繼ぐことゝなり、目下のところでは概數二百五十名の人々が市公署入りをするので人員は忽ち千五百人に膨脹し、加ふるに來年は國都建設局が合併されれば實に二千人の大世帶に躍進することゝなつた

關屋副市長談

市公署關屋副市長は次の如く語つてゐる

市公署は既に一切の移讓を受ける準備を完了し、今は只實施を待つのみである、理事機關、諮問機關、補助機關、區政等の機構は全く成つた、財政施設に於ては稅制を整備し豫算も目下組立中であるが最初からの諒解に基き移讓前に比し急激なる課稅賦課は避ける方針であるから市民は安心して可なりだ

廣島物產座談會

在新京の廣島縣產業獎勵館出張員永海清太郎氏は同縣の代表的生產業者數氏の來京を機に八日午後六時より益興樓に各方面を招き同縣物產に關する座談會を開催した

馬糞驅逐案採用決定

愈よ實用時代へ 本年中に馬車全部に取付け

鋪道の癌一掃！

新京人の惱みの種、路上の馬糞が一齊に消えてなくなる時が來た、路上到る處に散亂する一日四萬五千餘貫の馬糞を如何にして一掃すべきかとは國都多年の懸案であつたが保健衞生の上からもまた美觀の點からも一日も早く驅逐することは世界の新京たらんとする新京人の念願であり急務であると本社では本年二月首都警察廳、新京警察署、新京特別市公署、滿鐵新京支社地方課、首都乘用馬車人力車組合の後援で一般にこれが驅逐新案を懸賞募集したところ各方面から絕大の贊同を得て全滿はおろか遠く朝鮮內地北海道各地からも應募し六月十五日百數十案の盛況で締切り、同二十二日主催後援者各代表參集し審査の結果十二案を入選とし組合に於て實物を作成し實地試驗の結果種々缺點を發見し更に組合に於て入選案の長所を採り種々考究の末寫眞の如き案を得て九月二十八日より驛前の馬車八十台に取りつけ一ヶ月實驗し八日本社樓上に

新京署衞生主任原口一八、滿鐵新京支社地方課宇野太郎、小石澤英憲、滿鐵衞生隊長多田龍象、首都警察廳星野義政、特別市公署土木科舞木朗、首都警察廳保安科木下嘉市、同衞生科上西好男、首都乘用馬車人力車組合事務長相賀勝、本社伊藤の諸氏參集

最後的協議會を開き種々檢討の結果を採用し來る十二月末日迄に乘用馬車全部に取り付けることに決定しこゝに新京人の惱みの種が一つ解決され市街が淸掃される事になつたなほ應募案中には單獨でそのまゝ使用出來得る案なく十二案を入選として長所を採用し折衷品を作り等級の審査不可能のため賞金を廢し既報入選者に記念品床飾り銅製の馬を贈呈することに變更した【寫眞は新案馬糞受器、溜箱は馬約半日の排泄量を貯へ得る大きさで途中は布製作費一車分約二圓五十錢である】

不屈な轢逃げ運轉手 領警署に捕る

目擊者現はれて遂に自白

夕刊既報、七日午後五時三十分頃吉林大路二道河子橋際交叉點に於て松下ウラさんを負傷、人事不省に陷らしめ慘禍をそのまゝに逃走した不埒な運轉手については直ちに領警署で嚴重捜査を開始したが、その後馬車組合谷村氏が該自動車を目擊したとの聞込みから端緒を得て加害自動車は京六三八九號車特別市東三道街建築材料商福東公司運轉手營口生れ孫昌基（二七）と判明時を移さず手配、八日午後一時頃仕事先から何喰はぬ顏で立歸つたところを逮捕本署に連行嚴重取調べた、孫は『知らなかつた』と犯行を否定したが、同乘の苦力及目擊者の證言に參つて犯行を自白した

自殺志願男

家出、捜査願ひ

本籍山形縣西置賜郡長井町九二二、新京平安路四〇一滿鐵簡易宿泊所二階一號室宿泊横澤新平（三〇）は七日午前十一時頃自殺を圖り自室で安全剃刀を以て右頸部を切り苦悶中を隣室の者が發見直ちに豐樂路畑醫院に擔ぎ込み治療を受け屆出により新發屯派出所より檢證した、傷は輕微で生命に別狀なく嚴重說諭の上宿泊所職員に引渡したが、またしても八日午前八時三十分頃監視の隙に乘じ家出姿を晦したので捜査願出あつた、原因は先月廿四日百圓を所持一旗を志して渡滿したが、就職の目的を果さず所持金も使ひ果して悲觀の極厭世自殺を圖つたもので再び自殺の虞れあり捜査中である

武部理事來京

滿鐵理事武部治右衞門氏は事務打合せのため九日午前八時十分來京の豫定

職員　長谷川四郎　新京支社地方課勤務を命す（十一月一日）

巴中將來社

去る四日夜來京した興安〇省警備司令官巴特瑪拉佈坦中將は八日午後幕僚を從へ挨拶に本社へ來訪した

皇軍慰問を終へ

協和會代表きのふ歸京

協和會派遣の第二次北支皇軍慰問團一行十四名は四週間の旅を終へ同行松川指導部員とともに八日午後三時、太原陷落の報に少國民の歡呼の聲あがる新京に歸着した、驛頭には神吉總務廳次長その他各方面よりの出迎へがあつたが一行は一旦ヤマトホテルに落着き、團長谷總務廳次長は一行を代表して次の如く語つた

私達は先般の國民大會の決議によつて第二次北支皇軍慰問團として先月十五日新京を出發、天津、北京、張家口、大同、保定等各地を廻り各部隊や野戰病院等を訪問して感謝の意を表して參りました、またこの機會に各地に出來た治安維持會の委員達にも會ひまた北京天津では一行中に國防婦女會代表四名がゐましたため滿洲國の女性が家庭を護るだけでなしに國家非常時の場合國家社會に奉仕してゐる趣旨を呼び掛けるべく小中學女教員其他を招いて四女史とも講演會を開いて又ラヂオ放送を行ふ等の事もやつて參りました、そして日滿華相携へて國家社會のために盡さうといふことを申し合せたのであります、私達があちらへ參りましての感想としては戰爭直後の事ではあり定めし慘憺たる狀況を見るかと想像してゐましたのが行つて見ると意外にもかかる事は何らなく全く蹂躪されたやうに抗日軍隊とその策源地だけが掃蕩されてゐるのをよく見て來たのであります、南開大學の如く宋哲元軍が入り込んだ講堂其他は爆擊されてゐるが直ぐ傍の職員住宅の如き原狀の儘であります、それですから民衆一般も何らの恐怖を抱かず友邦の軍隊に親しんで居ります、滿洲國に對しては彼等は齊しく羨望の念を抱いて居りこれに倣つて明朗な北支を建設せんことを期して居ります、途中些か難澁もありましたが六十三歲の最高齡者も四人の婦人も終始元氣に旅程を終ることが出來たのを喜んで居ります

なほ一行は九日午前九時協和會中央本部に集合して國務院關東軍、治安部、駐滿海軍部等を順次歷訪し、午後二時中央本部で解散することとなつてゐる、又十一日午後六時二十五分から谷團長は「國民代表として北支に使して」と題して日本語放送講演を行ひ同日岳代表の滿語放送も行はれる筈である【寫眞は新京驛着の一行】

滿鐵附屬地卅年史

附屬地發展に伴ふ道路工事の飛躍（三）

鋪石道、步道の出現

大正初めより五、六年間は創業時代の後をうけ市街の發展も一段落を告げた爲新設工事は僅かに中央通、東五條及び蓬萊町の一部にして專ら維持改修に力めた、然るに大正七八年世界的景氣の波に乘り社運日々に隆盛となるに及び附屬地の發展又目覺ましく道路工事も再び飛躍時代を迎ふるに到り數年間にしてダイヤ街を除きたる附屬地內車道鋪裝の大半を完成した此時に於て道路鋪裝上に一大革新を齎せりコールタール撒布即ち之である、從來の道路鋪裝は前述の如く總て水締マカダムであつたが大正九年中央通に初めてコールタールを撒布してより其後に築造せるものは殆んどタールマカダムに改められると共に從來の碎石道路にも順次コールタールを撒布され附屬地の道路は全く面目を一新するに到つた、斯く活況を呈したる道路工事も大正の末期に到り全く終焉を告げ之より昭和六年の事變前迄は僅か西二條通以西の一部を築造したのみであつた、事變勃發後幾何もなくして首都となり大都市計畫の行はるゝ事となるや附屬地は南方へと著しく膨脹伸展すると共に隣接せる滿洲國兩域も漸次整備さるゝに及び道路の新設は陸續として起工せられた

其の主要なるものは中央通延長道路を始め事變後附屬地に編入せられたる陸軍官舍白菊町鐵西代用社宅地ダイヤ街等にして目下計畫中の中央通八島通間の三角地域及び櫻木町附近を除きたる商店街住宅地域の車道鋪裝は完成された、事變後に於る碎石鋪裝の從來と異る所は道路の中央と兩端に碎石厚を異にしたるを均一厚さとしたる事及び厚さ一〇—一二糎の單層マカダムを採用せる事である、昭和十一年三月末に於ける碎石車道の鋪裝面積は四四九、七七七平方米にして之に要したる事業費總額は約五十二萬圓に及んでゐる

鋪石道

東五條通以東の糧棧地域は嘗つて問屋町と稱し早くより發展したが大正七八年の好況時に際し荷馬車の通行頓に增加して道型のみにては放置し得ざる狀態となりたるを以つて大正八年東四七八各通三笠町及吉野町に鋪石道を設けた、之れ本市に於ゝ鋪石道の嚆矢にして次で翌九年に東廣場北五條通同十三年に高砂町住吉町の一部にも築造された、然れども當時のものは單に割石を敷並べ土目地を施したるに過ぎなかつたが其後幾何もなくして破壞され今日に於ては僅かに其の痕跡を止むるのみとなつた、花崗岩の切石を以つて鋪裝道を築造されたのは大正十五年にして驛前廣場に幅八、三米延長二〇三米を鋪裝し以つて和泉町、日之出町を連絡する荷馬車專用道路としたその構造は基礎碎石十糎の上に厚さ十糎のコンクリートを打ち敷モルタルを以つて十五糎角、長三〇糎の鋪石を並べた、昭和二年より四年に亘り東五條通りを五年には日之出町を築造した、事變後に於ては荷馬車專用道路の完否如何は國都建設事業に重大なる影響を及ぼすと共に附屬地內に於ける既設道路の維持保存上にも密接なる關聯を有するを以つて昭和七年には住吉町、北二條通の一部同九年、十年には日之出町、住吉町、高砂町と順次鋪石道は完成したのである、なほ十年に完成せる寬城子地下道路の改造と相俟て南方建設地域に通ずる和泉町延長道路を鋪石道に改築さるゝ曉には荷馬車專用道路の環狀線實現され重量貨物運搬統制の完璧が期せらるる譯である

步道

市街計畫當初に於ては步道の幅員は一間乃至三間にして鋪裝幅は五尺六尺七尺十尺十三尺とされた、步道鋪裝の普及は糧棧地域最も早く明治四十三年及び四十四年に於て早くも其の大半を鋪裝されたる今日に於ては之等は或は破壞し或は埋沒して其の片影だに見る事能はざれども當時既に此の地域內の步道の鋪裝を行つたことは注目に値するところである、之に反し商業住宅地域に於ては明治四十三年に日之出町、南廣場、北廣場四十五年に日本橋通を施工せるのみにして其の後に於ても普及は極めて緩漫であつた

構造は何れも碎石鋪裝にして路盤を鋤取り手曳ローラー又は蛸にて搗き固めた上に碎石を厚三寸乃至四寸敷込みローラーにて曳固めつゝ切込砂利を撒布したるものにして、横斷勾配は五十分の一である、其後本構造は大正四年に南廣場、中央通、大正十年に日本橋通、中央通及北廣場等に用ひられたが十一年東二條通に初めてコンクリートタイルの鋪裝を行ひてより全く其跡を斷つに到つた、コンクリートタイル鋪裝の構造は基礎碎石を厚さ二寸乃至三寸敷込みたる上に敷床として粗砂厚一寸を敷き配合一、三、六のタイルを砂目地を以つて敷並べたものである事變後に於て施工されたものは昭和七年標準圖の改制により基礎碎石を用ひず路盤上に直ちに敷床砂を撒布したる上砂目地を以つてタイルを敷並べたものである

關東局辭令

新京三笠小學校訓導　松下恭平
四平街尋常高等小學校訓導に任す（十月二十五日）

滿鐵辭令（地方部）

新京保健所主任副參事　羽生秀吉
奉天保健所主任兼保健醫奉天地方事務所勤務を命す
地方部衞生課保健防疫係主任參事　村川五郎
新京保健所主任兼保健醫新京支社地方課勤務を命す（十一月二日）
（新京支社）
大石橋地方事務所

首都警察磯部博士の或る日曜の家庭風景をこの欄で掲載したところ▼先生、事情を知つてゐる友人達にハテ女房は故鄕に歸つてゐる筈だがウームはてな早いとこやつたな▼なんて具合に盛んにヒヤカされ、女氣なしで自炊をやつてゐるのにデマを飛ばしてけしからんとフンガイしてゐたが▼自宅へ電話をかける度にとてもすき通つたソプラノで應待するのはありや一體何でせうか▼あの堂々たる體軀で女の一人や二人あつても決して不思議ぢやないが、懸命になつて辯解するあたりやはりあの童顏の如く純情なところがあるらしいて

天氣と氣溫
けふの天氣　風弱く晴
日の出　前七時二四分
日の入　後五時二一分
月の出　前〇時一一分
月の入　後一〇時三三分
きのふの氣溫　最高一五度　最低零下八度三

義人長七郎

（舞上演映畫化）中川雨之助
竹牧一郎畫

（九十七）

仇討兄弟（一）

ところが、兵十郎に三平太の兩人ですが、考へてみると、揃の無い憎めぬ男ばかりです。たとへ僅かの間でも一家に寝起きをするといふのも、何かの因縁。このまゝ別れてしまふも何となく殘り惜しくもあるし、將來また、どんなことで兩人を賴まねばならぬやうな事件が起らぬとも限らないから、別れるにしても素性を打明けて、偶々屋敷へ出入させるやうにしようかと、長七郎は考へてゐるのです。

ところが、その兩人です。相變らず暢氣なもので、今日もブラブラと兩國の賑ひの中を懐手で歩いてゐます。どうしたのか、長七郎は一緒でありません。

「オイ分つたか？」

と、兵十郎がたづねます。

「何だいだしぬけに」

と、三平太。

「大名縞の素性さ」

兩人は、長七郎のことを綽名して「大名縞々々々」と呼んでゐるのです。

「わかるもんか、そんなこと。しかし、どうなつてもいゝぢやないか」

「いや、さうで無い。大名縞は、近い中に何處かへ行つてしまひさうでならない。さうなると、おれは淋しくて堪へられん」

兵十郎は、柄にもなく感傷的になりました。

「時に貴公、一つ長屋の市松の噂を聽いたかい」

と、三平太が、思ひ出したやうに訊ねます。

「市松つて、あの市蒲劒のことかい」

「あゝさうだ」

「あの市松がどうしたい？」

「今朝ね、井戸ばたで「長屋の噂」道中の話だが、彼奴女房を持つたさうだよ」

「へえ、さうかい。それは初耳だ。どうだ、美い女かい」

女の話になると假山兵十郎、忽ち眼尻を下げてしまひます。

「まだ本體を拜んだわけではないが、素晴しい美人だといふ話だ」

「ウム、話を聞いただけでも、羨ましいなア」

猪のやうな大きな鼻の穴から、兵十郎は、フウッと、溜息を噴射します。

「羨むよりは、少々心細くなつて來たよ」

「何故て」

「考へても見ろ、蛇栗長屋の內で男世帶を張つてゐたのは、タッタ二軒だけだつた。その一軒の市松が女房を持つたとすれば、殘るは吾々二人きりではないか……」

三平太は、首を傾けて、甚だ氣弱沈の眼です。

「はゝゝ弱音を吐くな。吾々だつて、郷すに女房を持てば、それでよいではないか」

「持てばよい、といつて、心當りがあるのかい。いやさ、女房に來てくれるやうな女が、何處かに居るのかい」

「有るとも。拙者には確かに心當りがある」

「深川招き猫の看板娘お京さんだらう」

「勿論！」

「あかん〳〵」

「何があかん」

「お京さんには、鮎之助といふ歴キとした色男があつて、貴公には、鼻汁も引かけてくれやしないぢやないか」

「あッ、さう〳〵、その鮎之助で思ひ出した！」

と、突然兵十郎は大きな聲で怒鳴りました。

「なんだ、吃驚するぢやないか。」

「鮎之助がどうしたといふんだ」

と三平太もツイ釣り込まれてしまひます。それで女房の話なんか、もう何處かへ吹ッ飛んでしまひました。